

# 教科等横断的な視点に立った 授業づくりに関する調査研究 (1 / 2年)



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

埼玉県立総合教育センター  
教職員研修担当

## 目次

|   |                        |    |
|---|------------------------|----|
| 1 | はじめに                   | 1  |
| 2 | 目的                     | 1  |
| 3 | 目標                     | 2  |
| 4 | 方針・方法                  | 2  |
| 5 | 実施計画                   | 2  |
|   | (1) 研究協力委員会            |    |
|   | (2) 実施計画               |    |
|   | (3) 研究協力委員             |    |
| 6 | 研究概要（中間報告）             | 6  |
|   | (1) 教科等横断的な視点に立った資質・能力 |    |
|   | (2) 単元・授業構想（単元等構想シート）  |    |
|   | ① 小中学校国語部会             |    |
|   | ② 小中学校社会部会             |    |
|   | ③ 小中学校算数・数学部会          |    |
|   | ④ 小中学校理科部会             |    |
|   | ⑤ 小中学校音楽部会             |    |
|   | ⑥ 小中学校図画工作・美術部会        |    |
|   | ⑦ 小中学校体育・保健体育部会        |    |
|   | ⑧ 中学校技術・家庭部会           |    |
|   | ⑨ 小中学校外国語活動・外国語部会      |    |
|   | ⑩ 小中学校道徳部会             |    |
|   | ⑪ 高等学校国語部会             |    |
|   | ⑫ 高等学校地理歴史・公民部会        |    |
|   | ⑬ 高等学校数学部会             |    |
|   | ⑭ 高等学校理科部会             |    |
|   | ⑮ 高等学校保健体育部会           |    |
|   | ⑯ 高等学校外国語部会            |    |
|   | ⑰ 高等学校家庭部会             |    |
|   | ⑱ 高等学校情報部会             |    |
|   | ⑲ 高等学校工業部会             |    |
|   | ⑳ 高等学校商業部会             |    |
|   | (3) 授業実践例              |    |
|   | ① 小中学校国語科              |    |
|   | ② 小中学校社会科              |    |
|   | ③ 小中学校理科               |    |
|   | ④ 小中学校外国語科             |    |
|   | (4) 研究協力委員アンケート        |    |
| 7 | 成果と課題                  | 51 |
|   | (1) 成果                 |    |
|   | (2) 課題                 |    |
| 8 | おわりに                   | 52 |
| 9 | 参考文献                   | 52 |

# 令和5年度 調査研究（1／2年）

## <研究主題>

### **教科等横断的な視点に立った授業づくりに関する調査研究**

キーワード：「各教科等における見方・考え方」、「学習の基盤となる資質・能力」、  
「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」、  
「カリキュラム・マネジメント」

## 1 はじめに

平成29・30年告示の学習指導要領において、カリキュラム・マネジメントについて、以下のよう  
に示されている。

各学校においては、児童（生徒）や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現  
に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価し  
てその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにそ  
の改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の  
質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。

上記にあるように、カリキュラム・マネジメントの一側面が、「教科等横断的な視点」である。さ  
らに、学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資  
質・能力など、学校として、教科等横断的な視点で育成を目指す資質・能力を明確にし、その育成  
に向けた適切な指導がなされるよう示されている。

指導に当たっては、教科等の枠の中だけではなく、教育課程全体を通じて目指す教育目標の実現  
に向けた各教科等の位置付けを踏まえ、教科等横断的な視点によりねらいを具体化したり、他の教  
科等における指導との関連付けを図りながら、幅広い学習や生活の場面で活用できる力を育むこと  
を目指したりしていくことも重要となる。

中央教育審議会が令和3年1月26日に取りまとめた答申『令和の日本型学校教育』の構築を目  
指して」においても、指導計画を立案するに当たっては、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、  
社会とのつながりの中で、教科等を学ぶ本質的な意義を大切に、教科等横断的な視点に立って、  
資質・能力の育成を目指していくことの必要性が示された。同答申では、新時代に対応した高等学  
校教育等の在り方について、STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進の意義について示されて  
いる。

このような状況下で、埼玉県教育委員会では、令和5年度の重点施策の1つとして、県立高校に  
おいて、「教科等横断型の教育課程の検討・実践」を、小・中学校において、「SDGsの実現に向け  
た教育課程の研究・実践」を行う。また、総合教育センターが令和3、4年度に取り組んだ調査研  
究「GIGAスクール構想における1人1台／BYOD環境を活かしたICTの活用～各教科のねら  
いに迫る効果的な活用～」では、各教科等におけるICTの効果的な活用方法について明らかにする  
ことができた。今後は、研究の成果を踏まえ、さらに児童生徒の資質・能力の向上のため、より広  
く教科等横断的な視点に立った授業づくりについて研究を進めていくことが求められる。

これらを受けて、本調査研究では、「未来を育てる知の拠点」としての当センターのミッションの  
下、教科等横断的な視点により教師の授業力向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成に資するも  
のとするべく、研究主題を設定し、取り組むものとする。

## 2 目的

各教科等の見方・考え方を働かせながら、児童生徒の資質・能力を育成する「教科等横断的な視  
点に立った授業づくり」の実現に向けた実践的な調査研究を行う。

### 3 目標

- (1) 各教科等の目標の実現に向け、その特質に応じた見方・考え方を働かせながら、児童生徒に身に付けたい資質・能力を設定し、教科等横断的な視点による授業改善に資すること。
- (2) 本センターのミッションである「未来を育てる知の拠点」としての研究と実践を行うことで、研究協力委員の指導力向上に資するとともに、誰もが手軽に取り組める学校現場が必要とする事例を提示すること。
- (3) 本調査研究で得られた成果や知見を、県内のみならず全国へと発信し、教科等横断的な視点による授業づくりに関する課題解決の一助となること。

### 4 方針・方法

- (1) 児童生徒の資質・能力の育成に向け、学習指導要領等で示された「教科等横断的な視点」に則した実践を行う。
- (2) 研究協力委員会を通して、本センター指導主事と研究協力委員が、国や県の最新の動向や学校現場の課題を共有し、大学教授等の有識者の指導を仰ぎながら、協働して課題解決に向けた実践を行う。
- (3) 本調査研究で得られた成果や知見を、年次研修等に生かすとともに、広く県内外へと発信することで、評価される機会を得ながら研究を改善し、教科等横断的な視点に立った授業に当たっての課題解決を目指す。
- (4) 児童生徒の「知識及び技能」を育成するための指導における活用方法の開発と実践を行う。
- (5) 児童生徒の「思考力、判断力、表現力等」を育成するための指導における活用方法の開発と実践を行う。
- (6) 児童生徒の「学びに向かう力、人間性等」を育成するために、「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」と結び付けた指導方法や評価方法を工夫する。

### 5 実施計画

#### (1) 研究協力委員会

以下のア～ウの教科等について研究協力委員を委嘱し、本センター指導主事と協力して調査研究を行う。なお、研究協力委員は、小学校2名、中学校2名、高等学校3名を原則とする。調査研究協力委員会(年5回予定)における、研究内容についての確認や作業分担、協議、進捗状況の確認、検証授業等を通して研究を進める。

ア 小学校：国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、外国語活動・外国語、体育、  
特別の教科 道徳

イ 中学校：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、外国語、保健体育、  
特別の教科 道徳

ウ 高校：国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、外国語、家庭、情報、工業、商業

#### (2) 実施計画

2か年の調査研究とする。

1年目は、他教科等との学習内容や資質・能力のつながり、これまでの教科等横断型の学びについての事例を確認し、主に内容でのつながりの視点から実践を充実させる。

2年目は、1年目の実践を基にして、教科等のねらいに迫るため、資質・能力を高める視点から、実践を充実させると共に、より効果的な活用場面や活用方法を探る。

2年間の実践的な調査研究を通して、教科等横断的な視点による授業改善につなげていく。

【イメージ図】

## 「教科等横断的な視点に立った授業づくりに関する調査研究」

令和5年度 教職員研修担当 調査研究 [概要]

小・中・高等学校学習指導要領では、各学校において児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくことが求められている。

### 具体的な取組

- ・ 育成を目指す資質・能力を設定し、その実現に向け、教科等間で連携した学習単元計画を作成または実践する。
- ・ 実践事例を収集し、単元（題材）デザインシートにまとめる。
- ・ 1年間の研究のまとめについて、大学等外部機関から指導・助言を仰ぐ。
- ・ 次年度、1年目の研究から得られた学習単元計画の実践をもとに検証を進め、教科等横断的な資質・能力と各教科に固有の「見方・考え方」の対応の整理を行い、事例集を作成する。

### 目指す成果

- ・ 児童生徒の資質・能力の育成を目指す効果的な授業改善に、教科等横断的な視点から、実践事例を作成・提示する。
- ・ 児童生徒が、教科等の枠を超えて、自ら学んだことを駆使して直面する様々な課題に取り組み、成果を出していくための資質・能力の育成の一助となる。

### スケジュール

|          | 4月                  | 5月  | 6月                    | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月     | 1月    | 2月 | 3月 |
|----------|---------------------|-----|-----------------------|----|----|----|-----|-----|---------|-------|----|----|
| R5<br>年度 | 指導主事による教科等横断的な学習の研究 | 全体会 | 実態把握                  |    |    |    |     |     | 単元計画の作成 | 中間報告会 |    |    |
|          | 協力委員依頼              |     | 学習内容や資質・能力のつながりの確認    |    |    |    |     |     |         |       |    |    |
| R6<br>年度 | 協力委員依頼              | 全体会 | 実践事例の収集、検証授業の検討・準備・実践 |    |    |    |     |     | (検証授業)  |       |    |    |
|          | 協力委員依頼              |     | 検証授業の検討・準備・実践         |    |    |    |     |     | 実践事例集作成 |       |    |    |
|          |                     |     | 年次研修等での周知・活用          |    |    |    |     |     | 最終報告    |       |    |    |

| 年度    | 委員会       | 内容（進め方）                  |                              |
|-------|-----------|--------------------------|------------------------------|
| 令和5年度 | 第1回（5/30） | ○育成したい資質・能力、単元、関連する教科の選定 |                              |
|       | 第2回       | 検討                       | ○資質・能力、単元、関連する教科の検討          |
|       | 第3回       |                          | ○教科等横断で相談しながら（指導計画・単元構想など）   |
|       | 第4回       | シミュレーション                 | ○構想した単元についてのシミュレーション（検証授業も可） |
|       | 第5回       |                          | ○中間報告（次年度に向けた単元構想等）          |
| 令和6年度 | 第1回       | 検討・準備                    | ○検証授業の準備・実践                  |
|       | 第2回       | 実践                       | ○子供の学びを捉える（抽出児童生徒等から）        |
|       | 第3回       |                          | ○実践事例集・最終報告                  |
|       | 第4回       | 検証                       |                              |
|       | 第5回       | まとめ                      |                              |



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

研究のプロセス（進め方）が、  
 まるごと学校の中で実践できるように...

【令和5年度日程】

- 5月30日（火） 第1回研究協力委員会・全体会
  - \* 基調講演・演習「教科横断的な資質・能力を育む各教科の授業づくりと評価」
  - 講師 聖心女子大学 現代教養学部教育学科 教授 益川 弘如 氏
  - \* 教科別分科会
- 6月～1月 第2～5回研究協力委員会（各教科部会）
- 9月11日（月） 進捗状況報告会（各教科部会より）①
- 2月20日（火） 進捗状況報告会（各教科部会より）②
  - 講師 聖心女子大学 現代教養学部教育学科 教授 益川 弘如 氏
- 3月11日（月） 調査研究所内研究発表会

## (3) 研究協力委員

|    | 校種  | 教科           | 学校名           | 職名   | 氏名      | 担当指導主事 |
|----|-----|--------------|---------------|------|---------|--------|
| 1  | 小学校 | 国語           | 加須市立北川辺東小学校   | 教諭   | 田中 崇亮   | 中村 ひとみ |
| 2  |     |              | 滑川町立月の輪小学校    | 教諭   | 宗像 雅恵   |        |
| 3  | 中学校 |              | 戸田市立新曽中学校     | 主幹教諭 | 廣川 隼志   |        |
| 4  |     |              | 草加市立谷塚中学校     | 教諭   | 関川 明弘   |        |
| 5  | 小学校 | 社会           | 熊谷市立三尻小学校     | 教諭   | 米山 未来   | 浅見 寿文  |
| 6  |     |              | 秩父市立原谷小学校     | 教諭   | 宮原 大輔   |        |
| 7  | 中学校 |              | 北本市立宮内中学校     | 教諭   | 多田 悟    |        |
| 8  |     |              | 八潮市立大原中学校     | 教諭   | 岩元 響    |        |
| 9  | 小学校 | 算数<br>数学     | 桶川市立桶川小学校     | 教諭   | 森田 麻実   | 中山 直紀  |
| 10 |     |              | 秩父市立吉田小学校     | 教諭   | 保泉 拓都   |        |
| 11 | 中学校 |              | 上尾市立西中学校      | 教諭   | 奈良 美香子  |        |
| 12 |     |              | 鳩山町立鳩山中学校     | 教諭   | 大塚 陽介   |        |
| 13 | 小学校 | 理科           | 鴻巣市立吹上小学校     | 教諭   | 内野 皓輝   | 内田 純一  |
| 14 |     |              | 深谷市立上柴東小学校    | 主幹教諭 | 平枡 美誠   |        |
| 15 | 中学校 |              | 杉戸町立広島中学校     | 主幹教諭 | 小山 優    |        |
| 16 |     |              | 熊谷市立玉井中学校     | 教諭   | 富田 健太   |        |
| 17 | 小学校 | 音楽           | 深谷市立大寄小学校     | 教諭   | 鳥塚 沙由里  | 永井 基生  |
| 18 |     |              | 埼玉大学教育学部附属小学校 | 教諭   | 三橋 博道   |        |
| 19 | 中学校 |              | 久喜市立菖蒲中学校     | 教諭   | 秀嶋 矩子   |        |
| 20 |     |              | 上尾市立大谷中学校     | 教諭   | 山野井 真奈実 |        |
| 21 | 小学校 | 図画工作<br>美術   | 狭山市立山王小学校     | 教諭   | 岸 愛     | 鈴木 彩子  |
| 22 |     |              | 坂戸市立入西小学校     | 教諭   | 加藤 裕子   |        |
| 23 | 中学校 |              | 加須市立騎西中学校     | 教諭   | 岩淵 優子   |        |
| 24 |     |              | 行田市立長野中学校     | 教諭   | 五味 愛子   |        |
| 25 | 小学校 | 体育<br>保健体育   | 伊奈町立小針北小学校    | 教諭   | 結城 光紀   | 笛場 敦司  |
| 26 |     |              | 行田市立東小学校      | 教諭   | 中野 翔太   |        |
| 27 | 中学校 |              | 滑川町立滑川中学校     | 教諭   | 青柳 美桜   |        |
| 28 |     |              | 行田市立西中学校      | 教諭   | 野宮 香織   |        |
| 29 | 中学校 | 技術<br>家庭     | 志木市立宗岡第二中学校   | 教諭   | 石川 航    | 加藤 敦   |
| 30 |     |              | 熊谷市立大里中学校     | 教諭   | 横田 真澄   |        |
| 31 |     |              | 久喜市立鷲宮中学校     | 教諭   | 落合 さやか  |        |
| 32 |     |              | 入間市立武蔵中学校     | 教諭   | 加藤 睦美   |        |
| 33 | 小学校 | 外国語活動<br>外国語 | 寄居町立寄居小学校     | 教諭   | 渡辺 成美   | 秋場 大輔  |
| 34 |     |              | 三郷市立新和小学校     | 教諭   | 中野 絵里子  |        |
| 35 | 中学校 |              | 北本市立北本中学校     | 教諭   | 中澤 美保   |        |
| 36 |     |              | 神川町立神川中学校     | 教諭   | 奥山 圭太   |        |
| 37 | 小学校 | 道徳           | 草加市立氷川小学校     | 教諭   | 紺野 美奈   | 小久保 理恵 |
| 38 |     |              | 北本市立西小学校      | 教諭   | 福村 明日香  |        |
| 39 | 中学校 |              | 朝霞市立朝霞第三中学校   | 教諭   | 舟津 洋子   |        |
| 40 |     |              | 加須市立加須平成中学校   | 教諭   | 菅谷 優子   |        |

|    | 校種   | 教科         | 学校名        | 職名 | 氏名     | 担当指導主事         |
|----|------|------------|------------|----|--------|----------------|
| 41 | 高等学校 | 国語         | 所沢高等学校     | 教諭 | 松永 千希  | 長村 佳子          |
| 42 |      |            | 栗橋北彩高等学校   | 教諭 | 西村 紗菜  |                |
| 43 |      |            | 吹上秋桜高等学校   | 教諭 | 齋藤 真未  |                |
| 44 |      | 地理歴史<br>公民 | 所沢西高等学校    | 教諭 | 佐藤 亜矢香 | 笹川 悠希          |
| 45 |      |            | 岩槻高等学校     | 教諭 | 宮下 岳   |                |
| 46 |      |            | 坂戸西高等学校    | 教諭 | 青山 和雅  |                |
| 47 |      |            | 和光高等学校     | 教諭 | 松本 悠   |                |
| 48 |      | 数学         | 川越高等学校     | 教諭 | 高木 裕也  | 大澤 忠就<br>長島 正剛 |
| 49 |      |            | 越谷北高等学校    | 教諭 | 中尾 康人  |                |
| 50 |      |            | 越谷南高等学校    | 教諭 | 平原 雄太  |                |
| 51 |      | 理科         | 不動岡高等学校    | 教諭 | 武藤 研太  | 柴崎 雅子<br>高辻 洋明 |
| 52 |      |            | 川口北高等学校    | 教諭 | 藤澤 弘明  |                |
| 53 |      |            | 上尾鷹の台高等学校  | 教諭 | 宮寺 毅   |                |
| 54 |      | 保健体育       | 川口工業高等学校   | 教諭 | 木持 雄大  | 塚本 卓司          |
| 55 |      |            | 蓮田松韻高等学校   | 教諭 | 蛭田 真史  |                |
| 56 |      |            | 宮代高等学校     | 教諭 | 萩原 育未  |                |
| 57 |      | 外国語        | 川越女子高等学校   | 教諭 | 門馬 誠子  | 佐藤 勉           |
| 58 |      |            | 八潮南高等学校    | 教諭 | 松本 晃輝  |                |
| 59 |      |            | 草加南高等学校    | 教諭 | 小柴 園子  |                |
| 60 |      | 家庭         | 越谷北高等学校    | 教諭 | 浅見 祥代  | 小久保 聡子         |
| 61 |      |            | 新座柳瀬高等学校   | 教諭 | 永沢 幸恵  |                |
| 62 |      |            | 朝霞西高等学校    | 教諭 | 山崎 美帆  |                |
| 63 |      | 情報         | 川越高等学校     | 教諭 | 村口 将美  | 島村 睦           |
| 64 |      |            | 不動岡高等学校    | 教諭 | 杉山 武士  |                |
| 65 |      |            | 越谷南高等学校    | 教諭 | 天井 崇人  |                |
| 66 |      | 工業         | 春日部工業高等学校  | 教諭 | 谷島 聡   | 大橋 亨           |
| 67 |      |            | 浦和工業高等学校   | 教諭 | 吉岡 鉄馬  |                |
| 68 |      |            | 大宮工業高等学校   | 教諭 | 片桐 健一  |                |
| 69 |      | 商業         | 皆野高等学校     | 教諭 | 千島 拓実  | 劔持 幹子          |
| 70 |      |            | 浦和商业高等学校   | 教諭 | 梶原 朋子  |                |
| 71 |      |            | 越谷総合技術高等学校 | 教諭 | 水落 翼   |                |

## 6 研究概要（中間報告）

### (1) 教科等横断的な視点に立った資質・能力

第1回研究協力委員会・全体会では、聖心女子大学教授 益川 弘如 氏に御講演いただき、教科等横断的な視点で育む資質・能力の具体を捉え、各教科における授業づくりの工夫について考える場を設けた。

まず、研究協力委員がそれぞれ育成したいと思う「学習の基盤となる資質・能力」と「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」の組合せを考えた。ここから、資質・能力の繋がりには多様であり、複数の教科の学習と関連付けることで、より深い学びを生み出したり、生活の場面で活用できる力として育成したりすることができるのではないかと考えた（図1）。



図1 資質・能力の組合せの例

次に、各自が考えた組合せの中から特に育成したい資質・能力の組合せを一つ選び、それに関連する教科や単元等を考えるために、研究協力委員同士で意見交流を行った（図2）。

| 育成したい資質・能力と単元等を考えよう！マッチングする教科はあるかな？ |       |  |       |                                   |
|-------------------------------------|-------|--|-------|-----------------------------------|
| 校種                                  | 教科    | 育成したい資質・能力   | 学年    | 単元名等                              |
| 小学校                                 | 国語    | 地域をよりよくする方法を主張し合い、主権者として適切な判断をするための言語能力の育成                 | 6年生   | 目的や条件に応じて、計画的に話し合おう（みんな楽しく過ごすために） |
| 小学校                                 | 国語    | 感じ方の違いに気づき、良さを見つけ、言葉で伝えられる力                                | 4年生   | 喜ぶ姿をもったことを中心にしようがいしよう             |
| 中学校                                 | 国語    | 自分が感じたことを正しい言葉で相手にわかりやすく納得させるように伝える力                       | 2年生   | 魅力を効果的に伝えよう 読書文を書く                |
| 中学校                                 | 国語    | 情報活用能力を活かし、情報を熟み取り、引用し、伝える力                                | 1年生   | 情報社会を生きる                          |
| 小学校                                 | 社会    | 多様な価値観に気づき認め合う活動を通して、現代社会の課題について自己の考えを表現できる言語能力を育成する       | 4年生   | 国際交流のさかんな市・さいたま市                  |
| 小学校                                 | 社会    | 社会の中の問題を捉え、多面的多角的な視点で選択・判断し、社会参画できる力                       | 6年生   | 世界の未来と日本の役割                       |
| 中学校                                 | 社会    | 経済について学び、新しいコンビニ弁当の企画を考える活動を通して、言語能力・情報処理能力・課題発見・解決能力を育成する | 3年生   | 私たちの暮らしと経済                        |
| 中学校                                 | 社会    | 問題発見・課題解決能力（地域の課題、課題を資料等を用いて発見し、これを解決できる方法を考える活動を通して能力を養う） | 3年生   | 地方自治                              |
| 小学校                                 | 算数・数学 | 問題発見・活用能力  | ?     |                                   |
| 小学校                                 | 算数・数学 | 言語能力   | ?     | 式に表す よび 事象と行き来するような               |
| 中学校                                 | 算数・数学 | 問題解決・発見能力  | 中学1年生 | 比例と反比例                            |
| 中学校                                 | 算数・数学 | 問題解決・発見能力  |       |                                   |
| 小学校                                 | 理科    | 問題発見・解決能力 自然環境 技術の発展                                       | 6年生   | 月の見え方と太陽                          |
| 小学校                                 | 理科    | 問題発見・解決能力  | 5年    | 実や種子のできかた 体のつくりとはたらき              |
| 中学校                                 | 理科    | 問題発見・解決能力 持続可能な社会  | 中学3年生 | 科学技術と人間                           |
| 中学校                                 | 理科    | 問題発見・解決能力 自然環境との共存 持続可能な社会                                 | 中学2年生 | 天気とその変化                           |
| 小学校                                 | 音楽    | 情報を活用し、地域に伝わる音楽の役割を理解し、地域創生に活かす力を育む                        | 小3、4  | 地域に伝わる音楽で伝えよう、地域に伝わる音楽に親しもう       |

図2 育成したい資質・能力と関連する教科の単元名等

他教科の研究協力委員との意見交流を踏まえ、教科ごとに部会を開き、目指す児童生徒像と育成したい資質・能力から、教科等横断的な視点をもって他教科と関連付け、ねらいを具体化した単元等を構想していった。教科等横断的な視点に立った授業づくりを助けるために、「単元等構想シート」を考案し、活用した（図3）。

研究1年次は、単元等構想シートを用いて、育成する資質・能力、指導の工夫、具体的な手立て等について検討した。関連する教科の担当指導主事や研究協力委員と合同で会議を実施したり先行して実践したりする姿も見られた。

次の項には、実際に研究協力委員が構想した「単元等構想シート」を掲載する。

次年度に向けて構想中であり、学校の実態等に応じてよりよく改善していく予定である。

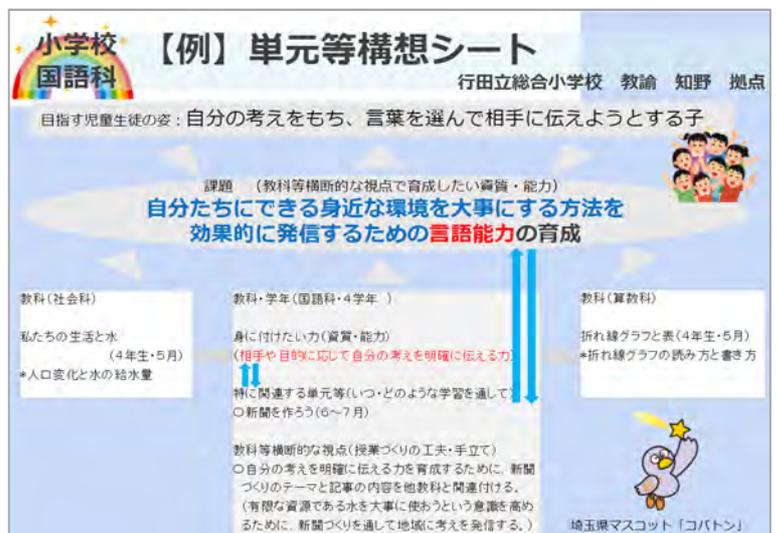


図3 単元等構想シート（例）



# 単元等構想シート

実践事例はこちらをクリック!

加須市立北川辺東小学校 教諭 田中 崇亮

目指す児童の姿:豊かな感性や奉仕の心もち、自ら学習する子



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**地域をよりよくする方法を主張し合い、主権者として適切な判断をするための言語能力の育成**

教科(社会科)  
わたしたちの生活と政治  
(6学年・5月)  
\* 国の政治のしくみと選挙

教科・学年(国語科・6学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(自分の主張を分かりやすく相手に伝える力)  
(相手の主張を受け止め、適切な判断をする力)

教科(社会科)  
日本の歴史(6学年・11月)  
\* 明治の国づくりを進めた人々  
・自由民権運動  
・政党の設立と国会の開設  
・初めての選挙

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
みんなで楽しく過ごすために(10月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○グループで話し合い、意見をまとめる単元であるが、社会科の政治に関する教育と関わらせ、まとめたことを主張し合い模擬選挙を開くというゴールを設定し、相手意識を高める。さらに、模擬選挙を通して自分の考えを主張する力・相手の主張を受け止め正しい判断をする力を身に付けられるようにする。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

実践事例はこちらをクリック!

滑川町立月の輪小学校 教諭 宗像 雅恵

目指す児童の姿:確かな学力を身に付け、自信をもって生活できる子



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**根拠を基にして自分の考えを表現するための言語能力の育成**

教科(図画工作科)  
本から飛び出した物語  
(4学年・1月)  
\* 物語から思い浮かべてつくる。

教科・学年(国語科・4学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(根拠を基に、よさを言葉で伝えられる力)

教科(理科)  
ものの温度と体積  
(4学年・11月)  
\* 温度によるものの体積の変化

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○きょうみをもったことを中心にしようかいしよう  
ウナギのなぞを追って(1月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○文章の面白さを言葉で表現する国語科の単元と、物語の面白さを造形活動で表現する図画工作科の題材とで、自分の思いや考えを表現できる児童を育成する。また、科学的な文章の読み方と実際の理科の実験の流れとを関連付ける。



埼玉県マスコット「コバトン」



目指す生徒の姿: 夢を持ち、その実現のために全力でやり抜く生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**自分の価値観や思いを相手に伝えるための  
言語能力の育成**



教科(音楽科)  
曲の構成に注目しながら曲想  
の変化を味わおう  
(2学年・10月)  
\* ベートーヴェン交響曲第5番  
の鑑賞をする。

教科・学年(国語科・2学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**自分が感じたことを正しい言葉で相手にわかりや  
すく納得させるように伝える力**)

教科(美術科)  
ひと目で伝えるための工夫  
(2学年・9月)  
\* 自分たちが作ったピクトグラム  
について鑑賞する。

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く(12月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○他者に自分の思いや感じたことを伝える鑑賞文を書く  
ため、基礎となる鑑賞力や知的好奇心を育む他教科と  
の関連を通してよりよい作品に仕上げていく。



埼玉県マスコット「コバトン」



目指す生徒の姿: 自ら学ぶ意欲を持ち、目標に向かって努力し、自信を持って学習に取り組む生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**身近な健康・安全・食に関する自分の考えを明確に  
し、わかりやすく伝えるための言語能力の育成**



教科(家庭科)  
・食事の役割と食習慣  
(1学年・6月)  
\* 食事の役割、栄養について  
理解し、毎日の食生活に関  
心をもつ。

教科・学年(国語科・1学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**根拠を明確にして自分の考えを伝える力**)

教科(保健体育科)  
・調和の取れた生活  
(1学年・6月)  
\* 健康とは何かを理解し、どうす  
れば健康を保持増進できるか  
健康と生活について学び、調和  
のとれた生活の継続を目指す。

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○根拠を示して説明しよう  
資料を引用してレポートを書く根拠を示して説明しよう  
(10月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○テーマを「長生き」にすることで、健康・安全・食など  
について出てくると予想される。他教科とのつながりが生  
徒にも明確であり、既存の資料と自分(たち)を比較し  
ながらレポートの作成ができる。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

実践事例はこちらをクリック！

熊谷市立三尻小学校 教諭 米山 未来

目指す児童の姿：自分の考えをもち、豊かな表現で他者に伝えようとする子



課題（教科等横断的な視点で育成したい資質・能力）  
**自分の思いや考えについて、効果的な表現方法を選択し発信できる言語能力の育成**

教科(国語科)  
新聞を作ろう(6～7月)  
リーフレットで知らせよう  
「不思議図かん」を作ろう  
→効果的な表現方法の選択。  
ウミガメの命をつなぐ(11～12月)  
→重要語句を見付け、要点をおさえて文章で表現する。



埼玉県マスコット「コバトン」

教科・学年(社会科・4学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(先人の工夫や努力を地域の人々の願いと関連付けて、自分の思いや考えを表現することができる力)**  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○「麦の生産量をふやす～先人のはたらき 権田愛三～」(12月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○自分の思いや考えを表現する力を育成するために、効果的な方法を選択できる場面を設定したり(国語)、人々の働きや地域のよさを知り、愛着をもつなかで、それらを表現するための語彙を増やしたりする(道徳・総合)。  
(権田愛三の功績を、人々の願いや生活の変化と関連付けて、自分の思いや考えを表現する。)

教科(道徳科)(11～12月)  
『もっこ』をせおって  
ふるさとを守った大イチョウ  
ふるしき  
→人々の働きがもつ力や地域のよさに気付く。

教科(総合的な学習の時間)  
三尻ふしぎ発見～見つけよう～  
→地域に対する愛着をもたせ、学習への意欲を高めさせる。



# 単元等構想シート

実践事例はこちらをクリック！

秩父市立原谷小学校 教諭 宮原 大輔

目指す児童の姿：他者との対話を通して、自身の考えを深め、広げようとする子



課題（教科等横断的な視点で育成したい資質・能力）  
**互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、自分の考えを広げたり、まとめたりするための言語能力の育成**

教科(国語科)  
いちばん大事なものは  
(6学年・11月)  
\* 互いの立場や意図を明確にしながら考えを広げたり、まとめたりする。

教科・学年(社会科・6学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(互いの立場や意図を明確に伝えたり、他者の話の内容を捉え、自分の考えと比較しながら、まとめたりする力)**  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○明治の国づくりを進めた人々(11月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○考えを広げたり、まとめたりする力を育成するために、話し合いの仕方を他教科と関連付ける。  
(「富国強兵のために政策が一番大事だったか」についての話し合いを通して自分の考えを表現する。)

教科(道徳科)  
ロレンゾの友達  
(6学年・11月)  
\* 違う立場の考えを交流することで、考えを深める。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

北本市立宮内中学校 教諭 多田 悟

目指す生徒の姿: 社会的な事象に対して様々な視点から問題を見つけ、解決できる生徒



## 社会的課題に対して各教科の視点を持った 思考力・判断力・表現力の育成

教科(理科)  
大地の成り立ちと変化  
(1学年・1~3月)  
\* 火山の噴火  
\* 地震の発生  
→ 基本的な知識・技能の活用



埼玉県マスコット「コバトン」

教科・学年(社会科・2学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(各教科の知識を活用した問題解決のための思考力・判断力・表現力)  
↑ ↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○ 日本の諸地域のまとめ(11月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○ 各地域の地理的特色を理科の授業の学習内容を活かす。(九州地方・東北地方)  
○ 各地方の既習内容の知識を活用して、本市にはどんな課題があり、どのように解決することができるのか考える。  
○ 批判的思考力を活用して互いに意見を出し合う。  
○ 課題発見・まとめシートを活用する。  
※ シートには各教科の視点を提示し、課題の発見・解決方法を考える際に活用する。

教科(国語科)  
\* モアイは語る  
\* 根拠の適切さを考えて書こう  
(2学年・10月)  
→ 情報と情報の関係を整理する。  
→ 自分の意見を支える適切な根拠を持つ。



# 単元等構想シート

八潮市立大原中学校 教諭 岩元 響

目指す生徒の姿: 自ら課題を発見し、解決に向かう力を持った生徒



## 社会的課題に対して自ら問題解決しようとする 社会科的な思考力・判断力・表現力の育成

教科(理科)  
大地の活動(1学年1~3月)  
\* 火山の噴火、地震  
天気とその変化  
(2学年・12月)  
\* 天気



埼玉県マスコット「コバトン」

教科・学年(社会科地理的分野・2学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(問題を発見し、解決する力)  
↑ ↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○ 日本の諸地域(4~12月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○ 各単元で、単元を貫く課題を設定し、自身が持つ基本的な知識・技能を活かし、課題を解決する。  
【例】東北地方「おいしいお米作りには、人々のどのような工夫があったのだろうか」  
→ やませ、季節風による気象条件、作況の様子、品種改良の様子などを学び、自分なりに考えて解決する。

教科(算数科)  
数量関係  
(小学校第5学年)  
\* 百分率、円グラフ・帯グラフ  
(小学校第6学年)  
\* 度数分布  
→ 数的な情報を処理する。



# 小学校 算数科

## 単元等構想シート

桶川市立桶川小学校 教諭 森田 麻実

目指す児童の姿: データをもとに物事を正しく捉え、判断し、自分の考えを説明できる児童



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**問題解決・活用能力の育成**

教科(社会科)  
自然災害からくらしを守る  
(単元名: 災害からくらしを守る)(8・9月)  
\* 過去の災害を学び、災害に対する備えについて考える。自助の視点から震災に関するデータを読みとく。

教科・学年(算数科・4学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**データの特徴や傾向に着目し、それらを用いて、解決の過程や結果を多角的に捉え考察する力**)  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
折れ線グラフと表(4月)  
算数でよみとこう(3月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○問題解決・活用能力を育成するために、社会と国語の学習と関連する。「災害」「防災」をキーワードに、データをもとに物事を正しく捉えたり、自分に必要なデータを選択したりすることを通して、自分の考えを説明できるようにする。

教科(国語科)  
考えたことを書き、読み合おう  
(単元名: もしものときにそなえよう)(2月)  
\* どんな備えが必要なのか理由を述べるために、自分の考えの根拠となるデータを示す。事例を挙げ引用し、出典を書くなど、文章構成を考える。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 小学校 算数科

## 単元等構想シート

秩父市立吉田小学校 教諭 保泉 拓都

目指す児童の姿: 物事を多面的に捉えた上で、判断できる児童



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**必要な情報を収集したり分類整理したりして、発信する力の育成**

教科(国語科)  
提案しよう、言葉とわたしたち  
(5学年・2月)  
\* 事実と自分の考えを区別して、説得力のある提案となるよう、算数のデータの活用の学習と関連付ける。本来、日常生活の言葉の使い方について考える教科書単元だが、本実践では児童が学校生活において解決したい問題をテーマとする。(必ずしも、言葉の使い方だけに限らない。)

教科・学年(算数科・5学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**必要な情報を収集したり分類整理したりして、発信する力**)  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
割合をグラフに表して調べよう(2月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○学校生活をよりよくするために(例: 自分の委員会のできることを提案する)  
P・・・靴そろえができる学校にしたい(あまりそろっていない気がする)  
P・・・朝の会の前、昼休み終了時にそろってる人の人数を調べる。  
D・・・1週間データを集める。  
A・・・「低学年、高学年」「朝、昼」の項目で二次元表にまとめる。  
全体の傾向と原因を分析する。  
C・・・放送とポスターで、全校に呼びかける。(特に外遊びから戻る時)



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 単元等構想シート

上尾市立上尾西中学校 教諭 奈良 美香子

目指す生徒の姿: 物事を多面的に捉えた上で、判断できる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**必要な情報を正確に読み取り、発信する力の育成**

教科(外国語科・1学年)  
Power-Up3道案内をしよう①  
(10月)  
\* 会話の意味を理解し、他者に道案内できるようにする。  
Steps5絵や写真を英語で表現しよう(12月)  
\* やりとりや発表の内容を膨らませ、表現を豊かにする。

教科(社会科・1学年)  
世界の諸地域(5月～7月)  
\* 世界各地における人々の生活の様子とその変容

教科・学年(数学科・1学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(必要な情報を正確に読み取り、発信する力)**

↑↓

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
5章平面図形(いろいろな作図) (12～1月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○必要な情報を正確に読み取り、発信する力を育成するために、他教科と関連付けながら、既習の作図方法を組み合わせ、どうしてこの作図方法を選んだか等の情報を根拠をもって他者に分かるように伝える。  
○日常の問題に関心を持つ(総合的な学習の時間)

教科(総合的な学習の時間)  
SDGsを通して世界を知ろう  
(1学年・12月)  
\* 安全な水とトイレを世界中に  
\* ジェンダー平等を実現しよう



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 単元等構想シート

鳩山町立鳩山中学校 教諭 大塚 陽介

目指す生徒の姿: 物事を批判的に捉え、データを使い問題を解決できる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**問題発見・解決能力の育成**

教科(保健体育科)  
熱中症について  
(3学年・9月)

教科(社会科)  
主権者教育について  
(3学年・10～11月)

教科(理科)  
地球温暖化について  
(3学年・1～3月)

教科・学年(数学科・3学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(問題発見、解決能力)**

↑↓

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
①データの活用(1年:2～3月)  
②箱ひげ図とデータの活用(2年:2～3月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○Excelの基本的な操作(技術科)  
○日常の問題に関心を持つ、地球温暖化(社会科、理科)

教科(数学科)  
今後さらに気温が上がっていくのか今後の気温を予想できるか。  
(3学年・3月)

教科(社会科)  
他の国の気温の変化、環境の変化はどうなっているのか

教科(保健体育科)  
今後気温が上昇することで、我々の生活をどのように変えていかなければならないか。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

実践事例はこちらをクリック！

鴻巣市立吹上小学校 教諭 内野 皓輝

目指す児童の姿：他者と協働して科学的に探究し、未知の状況に対応することができる子

課題（教科等横断的な視点で育成したい資質・能力）  
**新たな価値を生み出し、持続可能な社会をつくる**  
**問題発見・解決能力の育成**



教科(算数科)  
比例と反比例  
(6学年・9月)  
\* 反比例の式  
反比例の表・グラフ

教科・学年(理科・6学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(他者と協働しながら見通しをもって  
問題を解決し、活用する力)  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○この規則性(9月~10月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○この左右のつり合いについて考察する際に、表にまとめること  
によってこの片側を固定した際の片側の傾ける働きについて、  
おもりの重さと視点からの距離が反比例の関係になることに気付  
かせていく。  
○理科で学習したこのつり合いの考え方を生かして、図工のゆら  
ゆらどきどきの作品を作成していく。

教科(図画工作科)  
ゆらゆらどきどき  
(6学年・10月)  
\* やじろべえの左右をつり合わせる  
活動



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

実践事例はこちらをクリック！

深谷市立上柴東小学校 主幹教諭 平裕 美誠

目指す児童の姿：他者と協働して科学的に探究し、未知の状況に対応することができる子

課題（教科等横断的な視点で育成したい資質・能力）  
**新たな価値を生み出し、持続可能な社会をつくる**  
**問題発見・解決能力の育成**



教科(社会科)  
市の様子とくらしのうつり  
かわり  
(3学年・1~2月)  
\* 鉄道が通ったころの人々  
のくらし

教科・学年(理科・4学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(学習内容を活用して、実生活の問題を  
科学的に解決する力)  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
ものあたたまり方(12月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○金属、水、空気のあたたまり方を使って身の回りの自然  
事象や問題を科学的に説明する。(3年生で学習した昔  
の冷蔵庫の仕組みを説明したり、5年生に向けてフライ  
パンやなべを使うときの注意事項を伝えたりする)

教科(家庭科)  
クッキングはじめの一步  
(5学年・4月)  
\* ゆでて食べよう(青菜、たまご)  
暖かく快適に過ごす住まい方  
(5学年・2月)  
\* 暖房器具の上手な活用



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

杉戸町立広島中学校 主幹教諭 小山 優

目指す生徒の姿: 他者と協働して科学的に探究し、未知の状況に対応することができる子

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出し、持続可能な社会をつくる**  
**問題発見・解決能力の育成**



教科(社会科)  
日本のさまざまな地域  
第2章③自然災害と防災・減災への取り組み(地理 東書 P164)  
(2学年・5月)  
\* さまざまな支援 防災対策  
防災意識 ※過去の事例  
地球社会と私たち  
第5章 第2節①地球環境問題  
(公民 東書P178)(3学年・2月)  
\* 国際社会の取り組み  
世界の取り組み

教科・学年(理科・3学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**自然環境や資源の有限性の中で持続可能な社会を科学的に考え、つくる力**)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○3-5 自然・科学技術と人間(学図 P244~)(2月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○自然環境の変化や資源の枯渇等、今日的な課題を様々な角度から(科学的に、歴史的に、政治的に)分析する。  
○科学的な根拠をもとに、今日的な課題の解決策、手段を考え、実践することができるようにする。

教科(国語科)  
多様な視点から  
クマゼミ増加の原因を探る  
(光村 P42)(2学年・6月)  
\* 過去の研究報告から、課題とその論点を整理する。  
\* 研究の結果、考察についてを表現するための文章の構成と展開



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

熊谷市立玉井中学校 教諭 富田 健太

目指す生徒の姿: 他者と協働して科学的に探究し、未知の状況に対応することができる子

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出し、持続可能な社会をつくる**  
**問題発見・解決能力の育成**



教科(社会科)  
日本の資源・エネルギーと産業  
(2年生・11月)  
日本におけるエネルギー供給の現状民主政治と政治参加  
(3年生・10~11月)  
\* 選挙と民主主義の意義  
\* 主権者として求められる力

教科・学年(理科・3学年)  
自然環境の保全と科学技術の利用  
エネルギー資源の利用  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**持続可能な社会をつくるために必要な情報を吟味し判断・表現する力**)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○運動とエネルギー(10~11月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○現代の日本における電力供給について多面的・多角的に捉えるため、他教科での学習と関連付ける。  
○学級内で、持続可能な社会の実現のための方法を民主的に模範決定し、主体的に課題解決しようとする態度を育む。

教科(技術科)  
エネルギー資源の利用  
(2年生・12月)  
\* 各発電方法におけるエネルギー変換の仕組みと効率



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

埼玉大学教育学部附属小学校 教諭 三橋 博道

目指す児童の姿: 学び続ける子



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**豊かな人生を切り拓き、学び続けるための  
問題発見・解決能力の育成**

教科(国語科)  
冬の朝(第5学年・12月)  
\* 冬の言葉をたくさん探す活動を通して、様々な冬の情景をメージするとともに、言葉がもつよさを認識する。

教科・学年(音楽科・5学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(歌唱: **思考力、判断力、表現力**等)  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○ 詩と音楽との関わりを味わおう(12月)  
「冬景色」「スキーの歌」  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○ 詩と音楽の関わりから生まれる「よさ」を自分なりに見付け、深めることができるような教材提示の工夫。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

深谷市立大寄小学校 教諭 鳥塚 沙由里

目指す児童の姿: よく考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**課題を見い出し、仲間と協力しつつ自ら考える  
問題解決・発見能力の育成**

教科(国語科)  
しをよもう (1学年・10月)  
\* 擬音語の読み方(声の大きさや速さ)を工夫する。  
\* 雨に当たるものや当たった時の音の表現を考えて作品づくりをする。  
個人→グループ発表

教科・学年(音楽科・1学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**問題発見・解決を通して、新たな価値を生み出す力**)  
特に関連する題材等(いつ・どのような学習を通して)  
題材名 ようすをおもいうかべよう  
教材名 ほしぞらのおんがく(12月・音楽づくり)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
① 星をイメージする音を一人一人が考え表現する。  
② 4人1組のグループで、3つの場面に合わせて、音色、音の重なり、タイミングを工夫した音楽づくりをする。  
○ ICTの録音機能を活用し、音に表す→振り返りをくり返す。  
○ 場面設定は共通として、音の表現にこだわって作品づくりをする。

教科(算数科)  
かたちづくり(1学年・11月)  
\* 重ねたり積んだりすることができる面に着目しながら、タワーや動物などをつくる。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 音楽科

## 単元等構想シート

久喜市立菖蒲中学校 教諭 秀嶋 矩子

目指す生徒の姿: 志高く、未来を切り拓く生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

**協働的な関わりから想いをもって  
問題発見・解決に向かう生徒の育成**

教科(道徳科)

「むかで競走」C-15(1学年・9月)

\* みんなをまとめる力

「ハイタッチがくれたもの」C-15  
(2学年・9月)

\* 私たちでつくる校風

「銀メダルから得たもの」A-4  
(3学年・9月)

\* より高い目標をめざして

教科・学年(音楽科・全学年)

身に付けたい力(資質・能力)

歌唱、鑑賞における楽曲分析

(これまでの生活体験を生かして気付く問題発見力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)

題材名:『聴き手に伝わる合唱表現』(10月)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

OR-PDCA行動調査アンケートから「生徒が身に付いた能力」と「身に付けたい課題」を把握して進める。

教科(特別活動)

みんなで作り上げる校内合唱  
(全学年・9月)

\* 活動目標や自分の役割を意識して、学年や学級の一員としてどのような取組ができるか考える。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 音楽科

## 単元等構想シート

上尾市立大谷中学校 教諭 山野井 真奈実

目指す生徒の姿: 知「自ら考え、自ら学ぶ生徒」徳「心豊かに実践する生徒」体「たくましい生徒」



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

**平和に向かって自ら問いを見出し、考え、  
実践する問題発見・解決能力の育成**

教科(社会科)

第二次世界大戦

(3学年・4~6月)

\* 再び戦争の惨禍が起こることのないように、原爆の被害などの痛ましい出来事について学ぶ場面で、第2学年で取り組んだ「ヒカリ(合唱曲)」の歌詞を想起する活動を取り入れる。

教科・学年(音楽科・2、3学年)

身に付けたい力(資質・能力)

(未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)

○歌唱「ヒカリ」(2学年)(9~11月)

○鑑賞「ブルタバ」(3学年)(11~12月)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○人権教育との関連

○社会科との関連から自分は何を考え、どう音楽を味わうのか。

教科(総合的な学習の時間)

人権教育「奪われている権利」

(2学年・11月)

\* 世界中の子供たちが、当たり前にもつことのできる権利が損なわれている実態に触れたり、真の平和と国際貢献について考えたりする場面で、「ヒカリ(合唱曲)」で考えた音楽表現を想起する活動を取り入れる。



埼玉県マスコット「コバトン」

目指す児童の姿: 自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する児童



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(生活科)  
大きくそだてわたしのや  
さい(2学年)  
\*野菜の成長の観察  
きせつだより(2学年)  
\*四季の移り変わり

教科・学年 (図画工作科・2学年)  
題材名 「大きくそだて!びっくりやさい!」「よく見て落ち葉」  
身に付けたい力(資質・能力) **豊かな想像力**  
題材の概要  
○不思議な種を立体に表す。→種子からどんな野菜が育つかを想像して、考えたことや表したいことを絵に表す。  
○落ち葉の形や色、重なりに注目しながら、ルーペを使い落ち葉の線をよく見てで描く。赤、青、黄の3色の絵の具で色をつくり、色をのせるように描く。

教科(音楽科)  
ようすをおもいうかべよう  
文部省唱歌  
\*虫のこえ(2学年)  
\*もみじ(4学年)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○生活科で野菜を育てて収穫した経験や、野菜をその場で切って断面を見たり、触ったり、匂いを嗅いだりするなどの感覚的な体験をもとにしながら、図画工作科では、さらにイメージを広げ、新たな発想で想像力を発揮する活動を行う。  
○図画工作科での創造活動の喜びや生活科での感動や発見を伴う体験は、感性や情操を育て、豊かな生活を創造する態度を養う。また、協力して学びながら、自他の考えや感性の違いを認め合う活動でもある。



埼玉県マスコット「コバトン」

目指す児童の姿: 自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する児童



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(理科)  
かげと太陽(3学年)  
\*かげと太陽の位置

教科・学年 (図画工作科・3学年)  
題材名 「絵+光+影=な〜んだ!」  
身に付けたい力(資質・能力) **豊かな発想力**  
題材の概要  
○身の回りの物に光をあて、できた影を生かして想像したことや表したいことを描く。  
○描いたことを相手に伝わるように表す。

教科(国語科)  
つたわる言葉で表そう(3学年)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○理科で学んだ、太陽の位置によって、影の向きが変わることを活用し、様々な影を作りながら、自分が表現したい向きや形を決める。  
○鑑賞会では、相手に伝わる話し方や言葉を選びながら自分の作品を説明する。



埼玉県マスコット「コバトン」

目指す児童の姿：自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する児童



課題（教科等横断的な視点で育成したい資質・能力）  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(理科)  
水のすがたとゆくえ  
(4学年・9月)  
\* 水は水面や地面から蒸発して水蒸気になること

教科・学年(図画工作科・4学年)  
題材名 どろどろカッチン ○○たんじょう！  
身に付けたい力(資質・能力) **豊かな想像力**  
題材の概要  
○液体粘土にひたした布を固めた形から、想像したものを制作する。  
↑↓  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○日常から、掃除に使ったぞうきんが干した形に固まることから、水がなくなりその形に固まるおもしろさを感じる。  
○液体粘土に浸した布を様々な形に固まる活動を十分に行い、他者との活動の楽しさも経験する。  
○固まった布の形から何を想像するか友達と対話する活動を通して、他者と協働する楽しさを味わう。

教科(国語)  
題名の持つ意味について  
考えよう 一つの花  
(4学年・10月)  
\* 気持ちや様子を表す題名の意味を考える。



埼玉県マスコット「コバトン」

目指す児童の姿：自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する児童



課題（教科等横断的な視点で育成したい資質・能力）  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(社会科)  
特色のある地域の様子とくらし  
(4学年)  
\*社会科見学 紙漉き体験

教科(算数科)  
四角形の特ちょうを調べよう  
(4学年)  
\*垂直、平行と四角形

教科・学年(図画工作科・4学年)  
題材名 「和～！紙あわせランプ！」  
身に付けたい力(資質・能力)  
**学んだ伝統文化から自分の表したいことを工夫して表現する力**  
題材の概要  
○紙漉き体験で作った和紙と、組み合わせた角材を使って、灯籠を作る。  
○和紙や角材に触れながら活動することで、日本の美しさや日本文化について味わう。  
↑↓  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○日本に誇る和紙のよさを引き立てるような表現を工夫して表す。  
○表現や鑑賞の活動を通して、もの(和紙、木材、道具など)、人、こと、自己などさまざまな対象と対話し、見方・感じ方を広げる。  
○素材、形、光等の造形的な特徴や美しさや気付き、身の回りの生活や社会、文化とのかかわりを考える。

教科(国語科)  
・世界にほこる和紙  
(4学年)  
\*伝統工芸



埼玉県マスコット「コバトン」

# 小学校 単元等構想シート

図画工作科

坂戸市立入西小学校 教諭 加藤 裕子

目指す児童の姿: 自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する児童



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
 多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(国語科)  
 古典芸能の世界(5年)  
 \* 伝えられてきた文化

想像力のスイッチを入れよう(5年)  
 \* 事例と意見の関係をおさえて読む



埼玉県マスコット「コバトン」

教科・学年(図画工作科・5学年)

題材名「小さな世界！発見！」

身に付けたい力(資質・能力)

**自分の見方や感じ方から新たなものを生み出す力**

題材の概要

○ミニチュア作家の田中達也さんの作品から、学校にあるものを別のものに見立て表す活動。

○タブレットで写真を撮り、見立てたものをペイントで表す。

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○日本には昔から見立てて表す芸能文化がある。身近なものを、いつもとは違う視点から見ることにより、見立てる面白さから豊かな発想力や新たなものを生み出す力の育成を図る。

# 小学校 単元等構想シート

図画工作科

坂戸市立入西小学校 教諭 加藤 裕子

目指す児童の姿: 自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する児童



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
 多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(社会科)  
 今に伝わる室町文化  
 (6学年)  
 \* 雪舟・水墨画

教科(国語科)  
 『鳥獣戯画』を読む  
 \* 日本文化を発信しよう(6学年)

教科・学年 (図画工作科・6学年)

題材名「水墨画の新時代！」

身に付けたい力(資質・能力)

**伝統文化から自分の表したいことを工夫して表現する力**

題材の概要

○墨を使い、グループで一つの絵画を作り上げる。

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○実際に、墨を使って描き、様々な作品が昔から残っていることや今の文化に繋がっていることを学ぶ。

○水と墨の比が異なるだけで様々な墨の表現ができることや画面上の白と黒の比、余白の美しさなどから、今にも伝わる日本の文化について考える。

教科(算数科)  
 割合の表し方を調べよう  
 (6学年)

教科(音楽科)  
 日本の曲に親しもう  
 \* 作品に合う日本の響きや楽器を選ぶ(6学年)



埼玉県マスコット「コバトン」

# 小学校 単元等構想シート

図画工作科

狭山市立山王小学校 教諭 岸 愛

目指す児童の姿: 自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する児童



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
 多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(国語科)  
 おれとはねの筆使い  
 「活字」について知ろう  
 (3～6学年・5月)  
 \* 墨の濃淡やにじみ、かすれを活かして字に表す。

教科・学年(図画工作科・特別支援学級 全学年)

題材名 風の子って こんな感じ ふうとう

身に付けたい力(資質・能力)

**文字のイメージ・相手に伝える場面をもとに形に表す力**

題材の概要

○クラスをイメージした字を形にする(5月)

○封筒のデザインをする(6月)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○自己や他者の表現のおもしろさを活かして封筒を制作する活動を通し、新たな価値を生み出し、様々な表現を尊重する考え方を育む。

○学級のよさや雰囲気が伝わる封筒づくりやお店づくりを通して、他者と協働する楽しさを味わわせる。

教科(生活科)

・お店を開こう  
 (全学年・7月)

\* 商品を作った封筒に入れて売ろう。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 中学校 単元等構想シート

美術科

行田市立長野中学校 教諭 五味 愛子

目指す生徒の姿: 自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
 多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(道徳科)  
 「ありがとう。」の不思議な力  
 (3学年・4月)  
 \* 内容項目: 思いやり、感謝  
 ねぶたを夢見て(3学年・7月)  
 \* 内容項目: 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度

教科・学年(美術科・3学年)

題材名 Wrapping Light

身に付けたい力(資質・能力)

**主体的に主題を生み出し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す力**

題材の概要

○身の周りの光の多様性に気づき、よさや美しさを活かして表現する。

○あかりに込められた作者の心情や表現の意図や工夫などについて感じ取ったり考えたりしながら鑑賞する。

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○理科や技術での学習を活かして電気・光の性質を、道徳の授業を通して、あかりのもつ人々の想いや願いを考え、それらを総合して美術で創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する。

○既習事項の復習から展開し、発展的に表現活動を行う。

教科(技術科)

・エネルギー変換の機器や機構を利用して身近な問題を解決しよう  
 (2学年・4月～)

\* 電気、運動、熱の特性等の原理・法則とエネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 美術科

## 単元等構想シート

加須市立騎西中学校 教諭 岩淵 優子

目指す生徒の姿: 自他を大切にし、自分の思いや考えをのびのびと表現する生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性や  
多様性を尊重し他者と協働する能力の育成**

教科(社会科)  
地理  
持続可能な社会に向けて  
(2学年)  
\* 大量生産、大量消費  
持続可能な社会に向けて

教科(技術家庭科)  
消費生活と環境の関わり  
(2学年)  
\* 省エネルギーと持続可能な  
社会

教科・学年(美術科・2学年)

題材名 ポスターで伝えよう

身に付けたい力(資質・能力)

伝えたい情報から主題を生み出し、文字や色、  
構成、イメージ、伝達効果を考え、デザインし表現する力

題材の概要

- SDGsについて総合(社会・家庭科)で調べ学習を行う。
- 17の項目から1つ選び、伝えたいことを考え、ポスターを制作する。

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

- SDGsについて、社会、総合、技術家庭科等で調べ、学び、深め、自分事として捉えるようにする。学んだことから他者に伝えたいことをまとめ、多様な他者に伝わるためには、文字や色、イメージをどのように表現できるかを考え、ポスターに表す。ポスター制作後は、発表会や、掲示、社会の授業で使用するなどし、還元する。



教科(総合)

SDGsについて  
調べまとめよう(2学年)  
\* SDGsの17の項目から1  
つ選び、調べ、まとめ、  
発表する。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 小学校 体育科

## 単元等構想シート

伊奈町立小針北小学校 教諭 結城 光紀

目指す児童の姿: 多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する姿



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**主体的に豊かなスポーツライフを実現させる  
ための問題発見・解決能力の育成**

教科(図工科)  
見つけて！ワイヤードリーム  
(5学年・10月)  
\* チームごとにテーマを設定し、共同  
製作を行う。「うまくいかない部分」  
を共有する時間や、「問題解決に  
向けた方策」を検討する時間を  
意図的に設けることで、能力の育成  
につなげていく。

教科・学年(体育科・5学年)

身に付けたい力(資質・能力)

(協働しながら目標に向かって挑戦する力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
ダブルタッチ(11月)  
2人バレー(12月)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

- 多様な他者理解を行うための手順の提示と振り返り
- 他者と協働しながら解決する学習問題の設定

教科(理科)

電流が生み出す力

(5学年・11月)

\* 電流がつくる磁力の実験をチームで行  
う。明らかにしたい内容に着目したり、  
解決するための条件制御の方法を議  
論したりする活動を協働して行うこ  
とで、能力の育成につなげていく。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 小学校 体育科

## 単元等構想シート

行田市立東小学校 教諭 中野 翔太

目指す児童の姿: 全ての児童が主体的・積極的に課題を解決しようとする姿



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**主体的に豊かなスポーツライフを実現させる  
ための問題発見・解決能力の育成**

教科・学年(体育科・4学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(身に付けた知識を技能につなげていく力)**

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
器械運動(マット運動)(9月)  
ボール運動(ティーボール)(11月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○身に付けた知識を技能に生かす際、技や動きをよくする手立てやコツの一つとして、他の教科を関連付けて行う。グループで話し合えるような環境を作る。

教科(理科)  
動物の体のつくりと運動  
(4学年・5月)  
\* 筋肉と骨の動き



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 保健体育科

## 単元等構想シート

滑川町立滑川中学校 教諭 青柳 美桜

目指す生徒の姿: 課題の解決に向けて主体的に考え、行動できる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**主体的に豊かなスポーツライフを実現させる  
ための問題発見・解決能力の育成**

教科(理科)  
天気とその変化  
(2学年・12月)  
雲をつくろう  
\*実験の中で仮説を立てながら検証していく。  
今まで使用した実験道具の中で、目的にあった道具や物の使用を仮説を基に考える。  
考える手立てとなるものは教員が準備することも必要。

教科・学年(保健体育科・2学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(自己の課題にあった練習を考え、グループで協力し合いながら練習を組み立てる力)**

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
陸上競技<長距離走>(11月)  
ダンス(12月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○課題や授業のねらいを考えるとところから始める。  
○仮説を立てて、それを検証する。  
○場面や生徒の実態によっては検証する手立てや方法は提示することもある。



埼玉県マスコット「コバトン」

埼玉県マスコット「コバトン」

# 中学校 保健体育科 単元等構想シート

行田市立西中学校 教諭 野宮 香織

目指す生徒の姿: 主体的に問題発見ができる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**主体的に豊かなスポーツライフを実現させるための問題発見・解決能力の育成**



教科(道徳・2学年)  
 ・キャッチボール、足袋の季節、美しい母の顔  
 \* 道徳の授業を通しての集団・自己を見つめ直す。  
 \* タブレットを用いて、相手の考えを知る機会を設ける。

教科・学年(保健体育科・2学年)  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (目的に応じて、主体的に問題を見つけ試行錯誤しながら解決しようとする力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 バレーボール(10月)グループ学習分析  
 長距離走(11月)グループ学習分析  
 バドミントン (12月)ペア学習分析  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○ 自己の課題やグループでの課題を見つめ直す機会をつくり、それを解決する内容を他教科と関連づける。  
 ① ねらいに沿って課題をみつける  
 ② 個人→ペア・グループ  
 ③ 課題解決のための手だてで考え、実践  
 ④ 振り返り

教科等(特別活動・2学年・10月～)  
 \* 音楽会(行事)についての学級会を行うことで、目標をより明確にして、中間と事後で振り返る活動も行う。  
 \* 校則・学級でのルールについての学級活動会を行い、自分たちの姿を客観視しながら、今後の学校について考えていく機会を設けた。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 中学校 技術・家庭科 (技術分野) 単元等構想シート

志木市立宗岡第二中学校 教諭 石川 航

目指す生徒の姿: 学習・体験したことを適切に活かし、生活や社会の技術的な事象について、積極的に問題発見・課題解決できる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**持てる知識・技能をフル活用して課題解決ができる思考力・判断力・表現力の育成**



教科(理科)  
 生物と環境(地域の自然災害)  
 (2学年・10月)

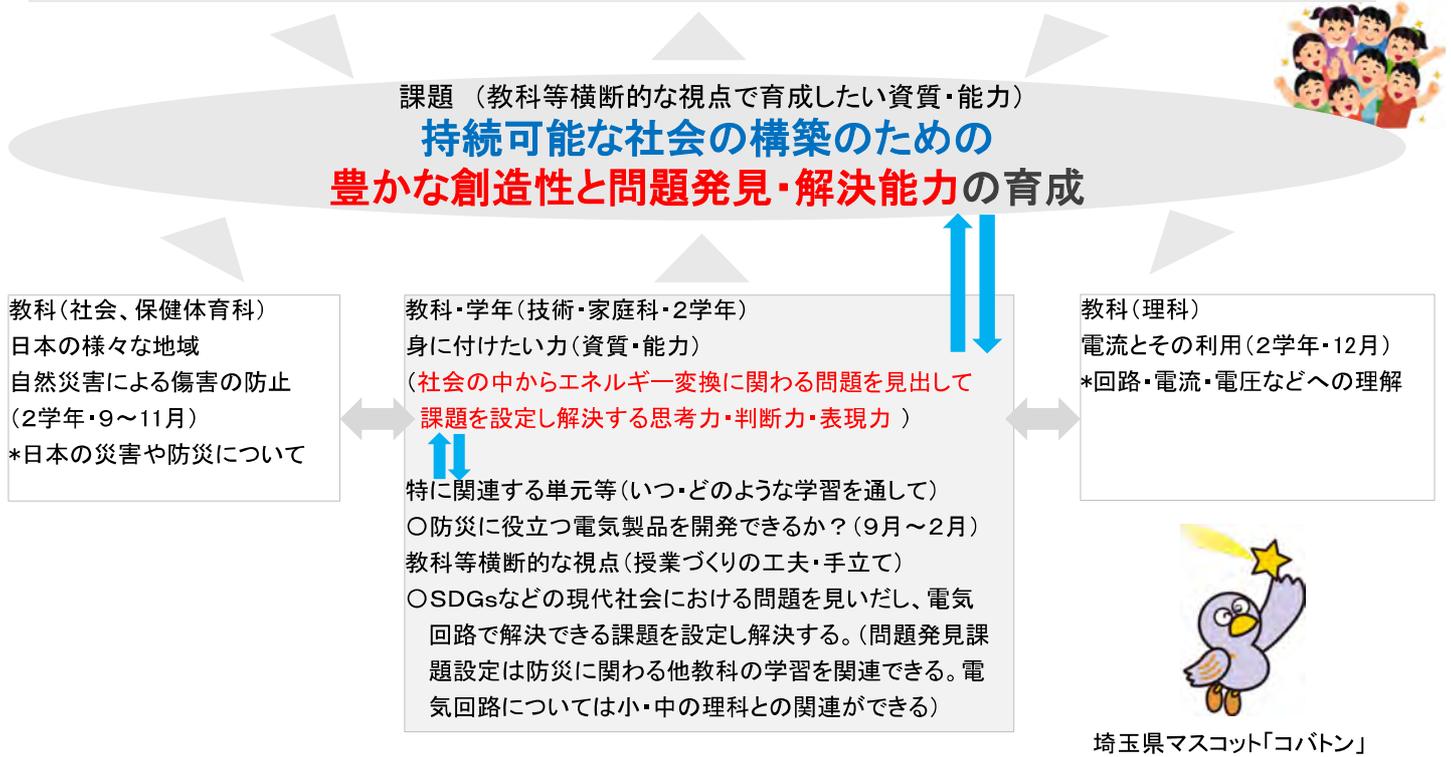
教科・学年(技術・家庭科・3学年)  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (災害時に技術で解決できる問題を見つけ、制約条件の中で課題を設定し解決できる思考力・判断力・表現力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○ 計測と制御 統合的な問題解決学習(9月～2月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○ 社会の中の問題を見つけ、情報の技術を活用して課題を解決する。(災害時とはどのような状況なのかを理解するには、技術分野だけでなく理科や社会などの教科で学習したことを活かさないと、問題が見つげにくい内容としている。)

教科(社会科)  
 日本の地域的特色と地域区分(2学年)  
 現代社会を捉える枠組み(3学年)

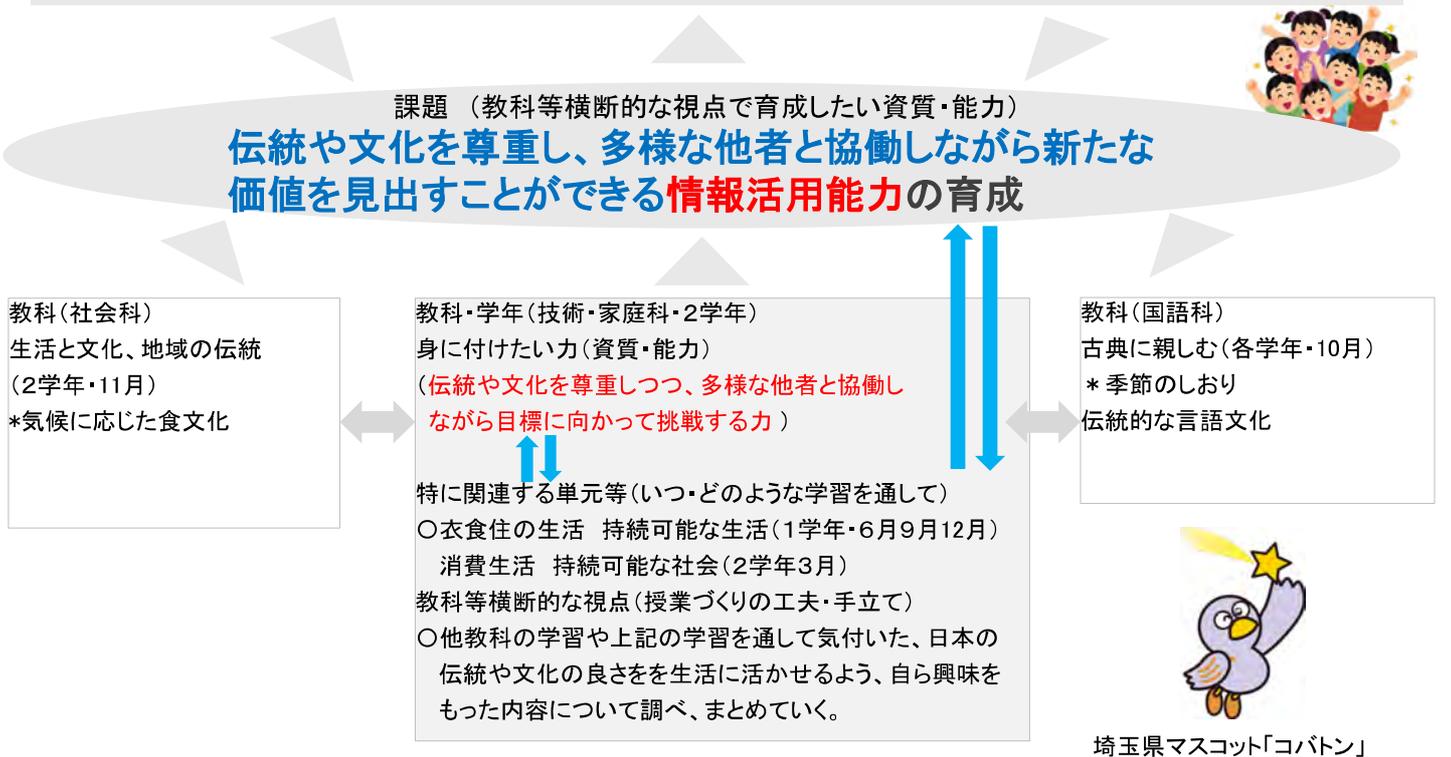


埼玉県マスコット「コバトン」

目指す生徒の姿: 未来のために生活や技術を工夫し創造しようとする生徒

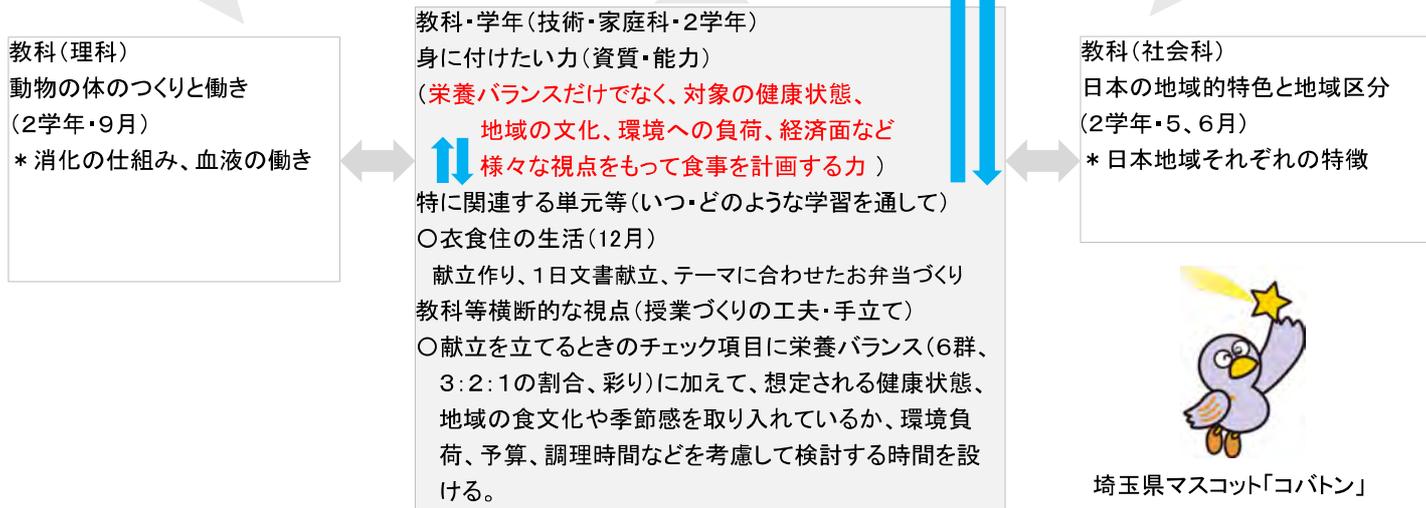


目指す生徒の姿: 日本の文化・伝統を重んじ継承しながら 自ら進んで新たな文化を創造していける生徒



目指す生徒の姿:それぞれの生活に応じた知識・技能の習得をし、それらを積極的に活用しながら課題解決に向かう生徒

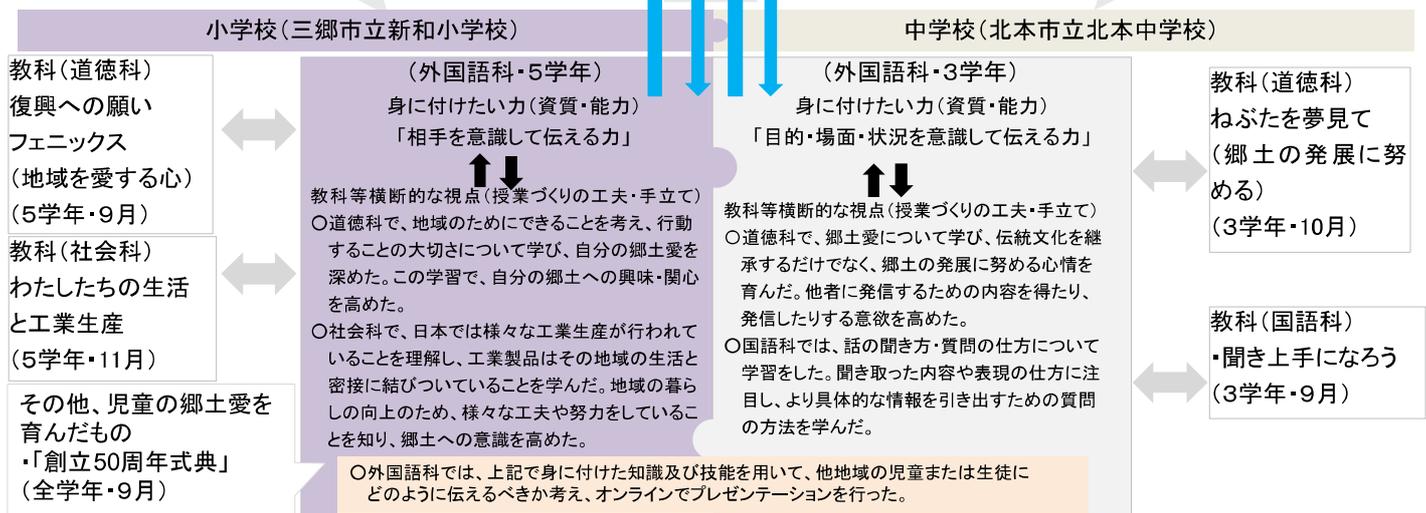
課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**他者と共働して、主体的に課題解決に取り組むための  
思考力・判断力・表現力の育成**



実践事例はこちらをクリック!

目指す児童生徒の姿:相手を意識し伝え方を工夫しながら、自分の考えを発信することができる子

課題(教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**身に付けた知識・技能を総動員して、相手に伝えるための  
言語能力の育成**





# 単元等構想シート

草加市立氷川小学校 教諭 紺野 美奈

目指す児童の姿: 学び合い 助け合って 自分を高める



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**自然環境や資源の有限性の中で持続可能な社会をつくるための問題発見・解決能力の育成**

教科(国語科)  
やまなし(6学年・8・9月)  
教科(社会)  
日本の歴史(6学年・6月～)  
教科(理科)  
土地のつくり  
地震や火山と災害  
(6学年・10・11月)

教科・学年(道徳科・6学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(問題発見・解決能力)**  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
内容項目C 生命の尊さ「命を見つめて」(10月)  
「折り鶴に願いをこめて」  
自然愛護 「チョモランマ清掃登山隊」  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○世界で起きていることについて理解し、身近な社会的課題を自分との関係や自分に置き換えて考えを深める。  
○多様性を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら、課題に対して、自分は何ができるのか考え、行動に移そうとする実践意欲と態度を育てる。

教科(国語科)  
海の命(6学年・3月)  
教科(社会科)  
世界の中の日本  
(6学年・1～3月)  
教科(理科)  
人の生活と自然環境  
(6学年・3月)  
教科(家庭科)(6学年・2・3月)  
持続可能な社会を生きる



埼玉県マスコット「コバトン」



# 単元等構想シート

北本市立西小学校 教諭 福村 明日香

目指す児童の姿: 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる西小っ子



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**対話を通して、自己の生き方についての考えを深めるための問題発見・解決能力の育成**

教科(国語科)  
はんで意見をまとめよう  
(3学年・10月)  
\* 目的と決めることを確かめ、自分の考えをもって話し合う活動を通して、問題解決能力を育成する。

教科・学年(道徳科・3学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(自分の問題として考え、これからの生活に生かしていく力)**  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○みんなの学級会(相互理解・寛容)(10月)  
○絵葉書と切手(友情・信頼)(11月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○道徳的な問題意識をもち、多面的・多角的に考え、話し合って自分の考えを深める。  
○問題解決に向けて、他者との対話や協働する学習活動を取り入れる。

教科(総合的な学習の時間)  
未来の北本市をつくろう  
(3学年・10月～12月)  
\* 自ら課題をもち、課題解決に必要な情報を収集し、整理分析して考えをまとめる。  
\* 他者と力を合わせて課題の解決に向かう。



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 道徳科

## 単元等構想シート

朝霞市立朝霞第三中学校 教諭 舟津 洋子

目指す生徒の姿: 真理を求め、進んで学習する生徒・自ら考え、責任を持って行動する生徒・心身ともにたくましい生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**新たな価値を生み出す豊かな創造性を育み、よりよく  
生きるための問題発見・解決能力の育成**

教科(国語科)  
夏の葬列  
(2学年・11月)  
\* 一度失われた命は二度と戻らないということ  
\* 命を奪ってしまった者の苦悩  
\* 残された家族の苦悩

教科・学年(道徳科・2学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**自他の生命を尊重し、限りある命を精一杯全うして  
生きようとする力**)  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○ブラック・ジャック ふたりの黒い医者(12月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○他教科での学習をふまえて、生命尊重の視点で話し合いたいこととその手立てを生徒自身で考え、問題発見・解決能力を育成を図る。

教科(保健体育科)  
心身の発達と心の健康  
(1学年・7月)  
\* 全ての命は奇跡的な確率で誕生するということ



埼玉県マスコット「コバトン」



# 中学校 道徳科

## 単元等構想シート

加須市立加須平成中学校 教諭 菅谷 優子

目指す生徒の姿: 他者を尊重し、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質)  
**世界平和の実現に向けた問題発見・解決能力の育成**

教科(社会科)  
現代の世界と日本  
(3学年・7月)  
\* 二度の世界大戦の反省に立ち、世界平和のためにどのような考え方が重要であるかを考える。

教科・学年(道徳科・3学年)  
身に付けたい力(資質・能力)  
(**問題発見・解決能力**)  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
内容項目C 国際理解、国際貢献 (11月)  
命のビザ  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○社会科で考えた世界平和のために必要な考えと、英語科の教材を通じて理解した世界平和への思いをもとに、世界平和のための課題を見つけ、その解決のために貢献しようとする意欲を育てる。

教科(外国語科)  
Unit3 Lessons From Hiroshima  
(3学年・6月)  
\* 広島平和記念公園でピースボランティアをしている女性から学んだことをまとめた英文のレポートを読んで正しく読み取る。世界平和のために行動する人の考えに接することで、世界平和の実現に寄与しようとする態度を育成する。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 国語科 単元等構想シート

所沢高等学校 教諭 松永 千希

目指す生徒の姿: 他者と関わる中で、相手の考えを尊重しながら自己の考えを適切に表現できる生徒



## 課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力) 相手の考えを理解するための想像力と 自己の考えを効果的に伝える言語能力の育成

教科・学年(国語科・1学年)

・現代の国語

身に付けたい力(資質・能力)

(話し合いの目的、相手の立場や反応に応じて、  
話す内容や構成、論理の展開、表現の方法を  
吟味し、自己の考えを効果的に伝える力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)

○評論「他者を理解すること」(10月)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○国語科の授業で学習した「他者の理解」の考え方をもち、制服の  
普遍的な意義や日本と世界それぞれの視点での意義、賛否等を  
考える。自分の考えをスライド1枚にまとめ、英語で発表する。

教科(外国語科)

・英語コミュニケーション I

学校における制服の実態(1学年・9月)

\*日本と世界の学校制服の比較とその意義を考  
える



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 国語科 単元等構想シート

栗橋北彩高等学校 教諭 西村 紗菜

目指す生徒の姿: 地域や社会の中で多様な他者と関わり合いながら自己を適切に表現できる生徒



## 課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力) 相手や場面に応じて効果的に コミュニケーションをとるための言語能力の育成

教科(家庭科)

・家庭総合

子どもとかかわる(2学年・2学  
期)

\*授業で折り紙や絵本の読み聞  
かせの練習をし、近隣の幼稚  
園へ実習に行く。

教科・学年(国語科・2学年)

・国語表現

身に付けたい力(資質・能力)

(相手や場面に応じて、聞き手を意識しながら  
自分の伝えたいことをわかりやすく伝える力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)

○「相手や場面に応じた会話」、「スピーチしよう」(2学期)

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○家庭科の絵本の読み聞かせや英語のスピーキングに活かせるよ  
う、伝える内容のわかりやすさだけでなく、声の大きさや話すス  
ピード、相手の反応をふまえた間の取り方など、聞き手を意識した  
話し方について学習する。

教科(外国語科)

・英語コミュニケーション II

(2学年)

\*スピーキングテスト



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

## 国語科

吹上秋桜高等学校 教諭 齋藤 真未

目指す生徒の姿: 多様化していく社会の中で、自ら考え、効果的に伝えていける生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**あらゆる他者と関わる上で、自分の考えを多彩にかつ効果的に表現するための言語能力の育成**



教科(外国語科)  
 ・生活と英語  
 単語の知識(3学年・通年)  
 \*単語帳を辞書がわりに使用しながら英文を読んでいく。

教科・学年(国語科・3学年)  
 ・論理国語  
 身に付けたい力(資質・能力)  
**(語感を磨き、豊かな語彙を使って表現できる力)**  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○今井むつみ「言葉は世界を切り分ける」  
 (令和5年度は現代文A・評論で構想)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○言語によって世界の切り分け方が異なることを理解した上で、英語、日本語の各単語が、それぞれどのような意味をもっているのかを比較・考察し、「単語の概念領域マップ」を作成する。  
 (例)「ごめんなさい/すみません/申し訳ございませんとsorry」  
 「かわいいとcute/prettily/lovely」青とblue/green」

教科(地理歴史科)  
 ・地理総合  
 世界の諸地域の生活・文化  
 (3学年)  
 \*言語と人々の生活、生活・文化のグローバル化



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

## 地歴公民科

所沢西高等学校 教諭 佐藤 亜矢香

目指す生徒の姿: 歴史に見られる課題の解決を視野に入れて、考察したことを効果的に説明し、それらをもとに議論したり他者に発信したりできる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**戦後の新たな国際体制の形成について史資料から考察し、平和について考え他者に伝える能力の育成**



教科(情報科)  
 ・情報 I  
 情報通信ネットワークとデータの活用(1学年・1月)  
 \*情報の収集と分析数値の羅列を表にし、さらにそれをグラフにすれば視覚的に大小で傾向が読み取れる。また、注目するポイントをしぼりグラフにすれば、さらに一歩進んだ分析も可能になる。

教科・学年(地歴公民科・2学年)  
 ・歴史総合  
 身に付けたい力(資質・能力)  
**(情報活用能力・問題発見・解決能力)**  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○国際秩序の変化や大衆化と私たち  
 国際連合と国際経済体制の学習(11月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○ポスターから狙いや疑問に思ったことを挙げる。  
 「UNITED NATIONS」の性格の変化を知るためにどのようなグラフ(データ)が必要か考える。現代における平和について考えレポートまたはポスターにまとめる。

教科(芸術科)  
 ・美術 I  
 表現・鑑賞(1学年・9~12月)  
 \*「文字の工夫とポスター」・「時代の様式とポスター」を学習し、文字デザインや配色などを考え、飲料パッケージのデザインを検討してプレゼンテーションを行う。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

地歴公民科

岩槻高等学校 教諭 宮下 岳

目指す生徒の姿: 様々な情報をまとめ、自分の言葉で表現できる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

## 持続可能な社会をつくるための 情報活用能力の育成

教科(国語科)

・現代の国語  
書くこと、読むこと  
(1学年・4～10月)  
\*文章を正確に読み取ったり、  
自分の言葉で文章を作ったり  
する活動。

教科・学年(地理歴史科・1学年)

・地理総合  
身に付けたい力(資質・能力)  
(多様な情報をうまく組み合わせ、活用する力)  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○地球温暖化問題とその対策(11月)  
グループワーク、プリント  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○協働学習を行い、適切な情報を取捨選択したり、わかりやすい文章を作ったりする力を対話を通じて身に付ける。スモールステップを用意することで、生徒が課題に取り組みやすくなるような環境を用意する。

教科(理科)

・化学基礎  
原子の構造と元素の周期表  
(1学年・5月)  
\*身の回りのものの元素記号や基本的な化学反応について学ぶ。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

地歴公民科

坂戸西高等学校 教諭 青山 和雅

目指す生徒の姿: 自ら問題意識を持ち解決に向かう生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

## 課題を発見する能力・ 問題を解決しようとする能力の育成

教科(情報科)

・情報Ⅰ  
コミュニケーションと情報デザイン  
(1学年・2学期)  
\*子育て世代が住みやすい社会に  
していくためにはどうすればよいかを  
考察する。  
例:ユニバーサルデザイン

教科・学年(公民科・3学年)

・政治・経済  
身に付けたい力(資質・能力)  
(世の中に疑問を持ち、その疑問を課題  
として設定し、解決に向かう力)  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○現代社会の諸課題(2学期)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○日本全体の課題である少子高齢化について、その中でも少子化に  
関する課題をみつけ、改善するための具体的方策を考える。  
例:なぜ少子化が進んでいるのか。安心して子育てしていける環境  
とはどういった環境だろうか。

教科(家庭科)

・子どもの発達と保育  
子どもの保育(3学年・2学期)  
\*子どもとのふれあい体験学習を  
行い、子育て中の親や乳幼児と  
接して、子育て世帯に必要な対  
策は何か。我々にできることを  
考察する。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

地歴公民科

和光高等学校 教諭 松本 悠

目指す生徒の姿: 自ら課題を発見し、周囲と協力しながら建設的な解決策を考えることができる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

## 来るべき人口減社会における 問題発見・解決能力の育成



教科(保健体育科)

・保健  
生涯を通じる健康(2学年・10月)  
\*「中高年期と健康」・「働くことと健康」に関する学習を通じ、健康寿命を延ばすために、自分自身が取り組めることを考える。

教科・学年(公民科・3学年)

・政治・経済  
身に付けたい力(資質・能力)  
(自分たちが住む社会の未来像を構想し、よりよい社会にしていこうとする力)  
↑ ↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○社会保障と福祉(1月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○「2065年の日本」を想定し、どのような社会が望ましいのかを考えるとともに、その社会の中で高齢者として生きていくために個人として何が必要かを考える。

教科(国語科)

・論理国語  
読むこと(2学年・1月)  
\*「未来の地図帳」を読み日本の総人口が減少していく未来図をデータで知るとともに、筆者の「戦略的に縮む」という考え方や「拠点型国家」について知る。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

数学科

川越高等学校 教諭 高木 裕也

目指す生徒の姿: 学習した内容について、主体的に活用することができる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

## データを分析し、活用する 情報活用能力の育成

教科・学年(数学科・1学年)

・数学 I  
身に付けたい力(資質・能力)  
(大量のデータについて分析する力)  
↑ ↓

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○データの分析(1月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○数学科では基本的に理論的な内容を指導し、情報科ではパソコンを用いた大量のデータを扱った統計処理について指導を展開する。(データを分析できる統計手法の獲得のため、数学科では少量のデータを扱い、その統計手法の理論を中心に学ぶ。情報科においては、パソコンを用いて大量のデータを扱うことにより、統計手法を現実場面で主体的に活用できるよう学ぶ。)

教科(情報科)

・情報 I  
「情報通信ネットワークとデータの活用」(1学年・1月)  
\*第3章 データの分析



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

## 数学科

越谷北高等学校 教諭 中尾 康人

目指す生徒の姿: データを正しく読み取り、適切に思考・判断・表現しようとする生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**相関係数を用いてデータを分析し、その背景にある問題を解決するための情報活用能力の育成**

教科(数学科)  
 ・数学 I  
 「データの分析」  
 (1学年・11月)  
 \*分散、標準偏差、相関係数

教科・学年(数学科・1学年)  
 ・理数探究基礎【SSH学校設定科目】  
 身に付けたい力(資質・能力)  
**(相関係数を用いて、データを分析する力)**

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○2学期以降の班別探究活動において、収集したデータを分析して考察する場面(9月以降)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○数学科と情報科に関連する学習内容を整理し、双方の授業づくりに役立てる。  
 ○相関係数を算出する際、手計算と表計算アプリを用いた計算の両方の活動を行うことで、数学科と情報科のそれぞれの学習内容の理解を深める。

教科(情報科)  
 ・情報 I  
 「情報通信ネットワークとデータの活用」(1学年・10月)  
 \* データ分析の手法



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 単元等構想シート

## 数学科

越谷南高等学校 教諭 平原 雄太

目指す生徒の姿: 数学が社会でどのように活用されているかを主体的に学ぶ生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**数学のよさを認識し、活用する情報活用能力の育成**

教科(情報科)  
 ・情報 I  
 「コンピュータとプログラミング」(3学年・10月)  
 \*デジタル、数値と文字の表現

教科・学年(数学科・1学年)  
 ・数学A  
 身に付けたい力(資質・能力)  
**(位取り記数法の考え方を理解し、活用する力)**

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○「数学と人間の活動」記数法(1月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○ $n$ 進法を学ぶ意義、それらが社会の中でどう活用されているか(2進数を16進数に変換する方法やその利点について)



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 理科 単元等構想シート

不動岡高等学校 教諭 武藤 研太

目指す生徒の姿: 科学的素養の育成(事実を吟味する力、論理的な思考力、合理的な判断力)



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**日常生活や社会と関連付け、  
 自然科学の規則性や関係性を見出す力の育成**

教科(数学科)  
 ・数学 I  
 三角関数(1学年・10月)  
 \*図形を三角比を用いて表現

教科・学年(理科・2学年)  
 ・物理  
 身に付けたい力(資質・能力)  
**(自然科学の規則性や関係性を見出す力)**  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○単元「光の回折と干渉」(11月)において、透過型回折格子と反射型回折格子の干渉実験を通して、CDのトラックピッチを測定する。  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○物理の干渉、情報の記憶媒体装置の情報処理、数学の三角関数の数式処理の知識を融合させて、自然科学の規則性や関係性を見出すことをねらいとする。

教科(情報科)  
 ・情報 I  
 記憶媒体装置の仕組み(1学年・10月)  
 \*コンピュータの内部では二進法を用いて情報を処理



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 理科 単元等構想シート

川口北高等学校 教諭 藤澤 弘明

目指す生徒の姿: 主体的に考え、化学的な視点から物事・現象を考えられる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**実生活と化学の学習内容を結び付けて落とし込み、  
 関連する情報を構造化する思考力の育成**

教科(保健体育科)  
 ・保健  
 ダイエットとBMI(2学年・5月)  
 \*安全なダイエットの目安: BMI  
 脂肪燃焼とランニングの関係

教科・学年(理科・2学年)  
 ・化学  
 身に付けたい力(資質・能力)  
**(日常的な現象を科学的に捉え、考える力)**  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○化学反応とエネルギー(5月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○「ダイエット」を題材に、実生活の中での脂肪燃焼によるエントロピー変化を学ぶ授業をつくる。ジグソー法を用いて、化学的な視点を入れたエキスパート資料の他に、物理的な視点(ランニングによって消費される力学的エネルギー)と保健体育的な視点(ダイエットと脂肪燃焼)を入れた資料を作成し、与えられた情報を整理・構造化し、問題解決する力の育成を図る。

教科(理科)  
 ・物理基礎  
 力学的エネルギー(1学年・7月)  
 \*運動エネルギーと位置エネルギー



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 理科 単元等構想シート

上尾鷹の台高等学校 教諭 宮寺 毅

目指す生徒の姿: 科学的な現象と日常生活を結びつけ、科学に親しみを感じる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**実験で目にした科学的な現象と  
 身近な生活を結びつける情報活用能力の育成**

教科(家庭科)  
 ・家庭基礎  
 衣生活を考える(1学年・2月)  
 食生活を作る(2学年・10月)  
 \*洗剤にも酵素が使われている。たんぱく質も食材によって性質が異なる。

教科・学年(理科・2学年)  
 ・生物基礎  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (科学的な現象を日常に活かす能力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○生物とエネルギー(5月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○身近な食材であるパイナップルにはタンパク質分解酵素であるブロメリンが含まれている。パイナップルのゼリーを作成する実験により、生体で合成される酵素の性質を理解する。また、酵素が衣食住の日常生活にも深く活用されていることを気付かせる。

教科(保健体育科)  
 ・保健  
 食事と健康(1学年・10月)  
 \*酵素は三大栄養素のたんぱく質で出来ており、同時にたんぱく質は酵素によって分解される。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 保健体育科 単元等構想シート

川口工業高等学校(定) 教諭 木持 雄大

目指す生徒の姿: 卒業後に自ら課題を発見し、改善するための手立てを模索する生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**現状を的確に捉え改善するための  
 情報活用能力の育成**

教科・学年(保健体育科・4学年)  
 ・保健  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (栄養・食事に関する問題発見能力及び改善に向けての情報活用能力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○栄養や給食の献立作成に関する講座実施(11月)  
 ○給食の献立作成・全校アンケート(12月~1月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○栄養士と連携し、献立に関する基礎知識・メニュー組みの際のサポートを行う。

教科等(栄養士)  
 ・定時制給食の献立を作成している栄養士とのコラボ



埼玉県マスコット「コバトン」

目指す生徒の姿: 自分の考えを適切に表現し、相手に伝えられる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**自分の考えを適切に表現するための  
言語能力の育成**

教科(芸術科)  
・書道Ⅱ(2学年・10月)

教科・学年(保健体育科・3学年)  
・体育  
身に付けたい力(資質・能力)  
(自分の考えを適切に表現し、伝える力)

教科(国語科)  
・国語表現(2・3学年、10月)  
\*国語一般

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○陸上競技(長距離走)(10月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○自分の考えを適切に表現し、伝える力を育成するために、長距離走の感想記入を他教科と関連付ける。



埼玉県マスコット「コバトン」

目指す生徒の姿: 豊かなスポーツライフを実現する力

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**英語圏で誕生したスポーツという観点から日本固有の  
スポーツを捉えるために必要な情報活用能力の育成**

教科・学年(保健体育科・2学年)  
・体育  
身に付けたい力(資質・能力)  
(スポーツの歴史を知り、さらにカタカナ表記である  
スポーツを英語で理解し、本質的なスポーツを捉えられる力)

教科(外国語科)  
・英語コミュニケーションⅡ  
世界を変えるのは私たち「仮定法」(2学年・10月)  
\*my way pp.140-145

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○柔道や体育理論(6月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○体育の特性であるプレイ=「楽しさ」を前提に、「プレイ」と調べる力を養う。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 外国語科 単元等構想シート

川越女子高等学校 教諭 門馬 誠子

目指す生徒の姿: 主体的に学び、自らのことばで発信できる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**自分で作成した資料をもとに、自分のことばで相手にわかりやすく伝えられる言語能力の育成**

教科(地理歴史科)  
 ・世界史探究  
 \*歴史(ガリレオ、ツタンカーメン、ヤンセン親子、ゲーテンベルクなど)(2学年)  
 ・地理総合  
 \*リビア砂漠の気候(2学年)

教科・学年(外国語科・2学年)  
 ・英語コミュニケーションⅡ  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (調査活動やプレゼンテーションにおいて、他者と協働しながら情報を共有、またその内容について討論できる力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○Lesson8 How We Got to Now with Glass (11月~12月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○教科書の導入として、歴史的観点から人物や場所について調査・プレゼンテーションを行う。それらにどのような関係があるかを推測し、今後の教科書の理解につなげる。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 外国語科 単元等構想シート

八潮南高等学校 教諭 松本 晃輝

目指す生徒の姿: 心身ともに健やかで、周りとの協働しながら社会に貢献できる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**悩みを抱える海外の友人にアドバイスをするための言語能力の育成**

教科(保健体育科)  
 ・保健  
 精神疾患の予防(1学年・11月)  
 \*ストレスや不安に対処しよう

教科・学年(外国語科・1学年)  
 ・英語コミュニケーションⅠ  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (英語で自分の知っていることを相手に提案する力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○Power On English Communication I  
 Lesson8 Routes to the Top (9月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○保健体育科教員の経験を交えたスポーツとメンタルについての講義を聞き、スポーツとメンタルの関係性を知る。  
 ○メンタルトレーニングに関する英文を読み、内容を整理し、スポーツにおいて精神的な悩みを抱える友人(非日本語母語話者)へのアドバイスを考える。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 外国語科 単元等構想シート

草加南高等学校 教諭 小柴 園子

目指す生徒の姿: 統合的な言語活動をととして、自分の考えを豊かに表現し伝えようとする生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**健康、安全、食に関する能力の育成**

教科(家庭科)  
 ・家庭基礎  
 \*食生活の設計と創造(1学年)  
 家族の健康と食事

教科・学年(外国語科・1学年)  
 ・英語コミュニケーション I  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (他教科で学んだことを、外国語を通して  
 他者に伝える力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○オリジナルの宇宙食を考えよう(10月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○家庭科における栄養学的な観点から宇宙食の工夫さ  
 れている点について学ぶ。グループ活動でのやり取り  
 を通して、オリジナルの宇宙食を考え、積極的に意見  
 交換と発表を行い、英語で伝える力を身に付ける。

教科(家庭科)  
 ・家庭基礎  
 \*食生活の設計と創造(1学年)  
 食生活のデザインと実践



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 家庭科 単元等構想シート

越谷北高等学校 教諭 浅見 祥代

目指す生徒の姿: 栄養素の働きを理解し、日常生活に当てはめて活用できる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**五大栄養素の働きを理解し、場面に合わせた献立作  
 成をするための問題発見・解決能力の育成**

教科・学年(家庭科・2学年)  
 ・家庭基礎「衣食住の生活の自立と設計 ～五大栄養素の働き～」  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (栄養と体の仕組みを理解したうえで、目的に合わせて献立を作成する力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○食生活と健康  
 五大栄養素の種類と機能 ・青年期の食生活  
 食品分類(2学年・10～12月) 班ごとに献立を作成し、プレゼンテーション(1月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○スポーツ栄養に基づいた資料やメンタルコントロールと食が関連する資料、レシピ集を用  
 意し、保健・体育の学習とのつながりを意識させる。

中学校(技術・家庭)  
 ・公開授業にて情報共有 ・小中高の系統について学ぶ

教科(保健体育科)  
 ・体育(全学年・11月)  
 陸上競技(長距離走)  
 \*ペースの変化に対応して走る



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 家庭科 単元等構想シート

新座柳瀬高等学校 教諭 永沢 幸恵

目指す生徒の姿: 栄養素の働きを理解し、食生活で活用できる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**遺伝子の発現とアミノ酸の関係を理解し、  
 食生活において情報活用する能力の育成**

教科・学年(家庭科)

・家庭総合「衣食住の生活の科学と文化～たんぱく質～」(2学年・9月)

身に付けたい力(資質・能力)

(たんぱく質が体を構成する仕組みと必要なアミノ酸を理解する力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)

○食生活分野(9月)

五大栄養素の種類と機能

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○生物基礎の内容を復習できるようなプリントを作成、知識の往還により学びが深まることを目指す。理科(生物基礎)でたんぱく質の合成について学んだことを踏まえ、家庭科「必須アミノ酸の働き」の授業につなげる。

中学校(技術・家庭)

・公開授業(郷土料理について学ぼう)にて情報共有 ・小中高の系統について学ぶ

教科(理科)

・生物基礎(2学年・6月)

遺伝情報とタンパク質の合成

\*タンパク質はDNAの設計図から作られる。mRNA。セントラルドグマ。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 家庭科 単元等構想シート

朝霞西高等学校 教諭 山崎 美帆

目指す生徒の姿: 自ら得た収入を管理し、様々な情報から自分にあった判断のできる生徒



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**生涯を通して家計をマネジメントするための  
 情報活用能力の育成**

教科・学年(家庭科)

・家庭総合「持続可能な消費生活・環境～経済生活～」(2学年・1月)

家計資産のマネジメント ※協調学習

長期的貯蓄としての金融商品を活用した家計管理

身に付けたい力(資質・能力)

(家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメント力)

特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)

○人の一生と家族・家庭及び福祉(4月)

ライフステージの特徴と課題

教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)

○公共で株式(企業が経済を回すためにどのような資産運用をするか)について学んでいるため、その知識を活用しつつ、より良い家計の貯蓄運用について学ぶ。

中学校(技術・家庭)

・公開授業(郷土料理について学ぼう)にて情報共有 ・小中高の系統について学ぶ

教科(公民科)

・公共

経済分野(2学年・6～11月)

企業の活動、株式学習ゲーム

\*企業が株式を活用して運用資金を調達する仕組み



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 情報科 単元等構想シート

川越高等学校 教諭 村口 将美

目指す生徒の姿: 高い目標に果敢にチャレンジし、リーダーとしてグローバルに活躍できる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**様々な知識を活用しながら、課題の発見・解決に  
 結び付けていく資質・能力の育成**



教科(数学科)  
 ・数学 I  
 データの分析(1学年・1月)  
 \*四分位数、四分位範囲、四分位偏差、分散、標準偏差、散布図及び相関係数などに着目させ、データの傾向を的確に把握できるようにする

教科・学年(情報科・1学年)  
 ・情報 I  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (様々な知識を活用しながら、実社会の課題解決に結び付ける力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○「モデル化とシミュレーション」「データの分析」において、表計算ソフトウェアやプログラミングでのデータ処理や分析を行う方法を身に付ける。(1月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○数学 I と情報 I を相互補完的に組み立て、関連するものを異なるアプローチで説明する。数学的活動を情報の授業や総合的な探究においてコンピュータを活用して整理・分析し、課題解決や社会的な価値の創造に結び付けていく。

教科等(総合的な探究の時間)  
 ・探究(全学年・通年)  
 地域探究、課題研究、サイエンス  
 \*探究活動、体験活動を行い、生徒の科学観、研究能力、表現能力、社会性の育成をはかる



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 情報科 単元等構想シート

不動岡高等学校 教諭 杉山 武士

目指す生徒の姿: 問題を的確に捉え、自ら解決し、その成果をもって他者に貢献できる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**知識を結びつけ新たな価値を創造する力の育成**



教科(地理歴史科)  
 ・地理総合  
 地図や地理情報システムと現代世界(1学年・6月)  
 \*地図やGISを用いて捉える学習などを通して汎用的な地理的スキルを習得

教科・学年(情報科・1学年)  
 ・情報 I  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (新たな価値を生み出す豊かな創造力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○プログラミング・ネットワークの活用  
 テキストプログラミング(10月)データの分析(1月)の学習を通して、オープンデータ等を活用したシミュレーションを行う。  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○地理総合と数学 I・Aの問題を情報とその結び付きとして捉え、プログラミングを通して、情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。そして、社会問題の解決を目指し、将来的に社会へ貢献する意識を養う。

教科(数学科)  
 ・数学 I (1学年)  
 データの分析  
 ・数学 A  
 場合の数と確率 (1学年・7月)  
 \*データの最頻値・中央値・四分位数、分散と標準偏差、相関係数、順列と組み合わせなどを通してデータの分析を習得



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 情報科 単元等構想シート

越谷南高等学校 教諭 天井 崇人

目指す生徒の姿:問題を的確に捉え、自ら解決し、その成果をもって他者に貢献できる生徒

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

**複数の教科の異なる知識を  
組み合わせるまとめる能力の育成**



教科(地理歴史科)  
・歴史総合  
戦時中のメディアによる情報操作(1学年・3月)  
\*全体主義の台頭、戦前においてもフェイクニュースを用いて、世論の誘導が行われた事実から現代でも行われる恐れがあることを学習する。

教科・学年(情報科・3学年)  
・情報 I  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(既存の知識を統合できる力)**  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○情報社会と私たち(5月)  
情報技術と課題解決  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○生成AIを題材に仕組みや今後予想される問題点を社会的・数学的側面から検討する。

教科(数学科)  
・数学A  
条件付き確率(1学年・10月)  
\*ベイズの定理、事前確率・事後確率を用いながら科学的に精度を高めることが出来る。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 工業科 単元等構想シート

春日部工業高等学校 教諭 谷島 聡

目指す生徒の姿:様々な情報を活用し、協働して課題解決に挑戦すると共に創造性豊かな人

課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)

**地域産業の役割を理解し、新たな価値を生み出し地域創生等に  
生かすための情報活用、問題解決能力の育成**



教科(地理歴史科)  
・歴史総合  
日本の産業革命と社会問題(3学年・2学期)  
\*鉄道の発展と地域との関わりについて学習する。

教科・学年(工業科・機械、3学年)  
・課題研究  
身に付けたい力(資質・能力)  
**(情報収集力、問題解決能力)**  
↑↓  
特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
○ミニSL製作、地域交流イベント(5月~12月)  
教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
○地域産業の歴史を知り、どのような発展を遂げてきたのかを理解することで、取り組もうとしている課題に対し積極的且つ協働して取り組む意識を高める。

教科(家庭科)  
・フードデザイン  
フードデザイン実習(市場調査)(3学年・2学期)  
\*アンケート調査をもとに、駅弁の考案・販売を行う。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 工業科 単元等構想シート

浦和工業高等学校 教諭 吉岡 鉄馬

目指す生徒の姿: 様々な情報から総合的に判断し、課題解決に向けて他者と協働できる人



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**情報を共有し、課題解決に向けて他者と連携できるコミュニケーション力、言語能力、問題発見・解決能力の育成**

教科(外国語科)  
 ・英語コミュニケーションⅡ  
 単語の知識、単語テスト(2学年)  
 \*プログラミングや処理に関する英単語の意味を学習する。

教科・学年(工業科・情報技術、2学年)  
 ・プログラミング技術  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (言語能力を活用して情報を読み取り処理する力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○ユーザ関数(10~11月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○三角比の計算を○言語で記述し、処理の流れを英語に翻訳することで、処理に関する英単語を学ぶ。また、プログラムを実行した際に英語で表示されるエラーコードや警告を読み取り、正しい対処ができるようにする。3~4名でグループをつくり、三角比を計算するプログラムを作成する。処理に必要な関数を分担して作成し、「関数」とはどのようなものかをイメージできるようにする。使用する変数、関数名は役割に合わせて決定し、グループで共有する。

教教科(数学科)  
 ・数学Ⅱ  
 三角関数(2学年)  
 \*三角比等



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 工業科 単元等構想シート

大宮工業高等学校 教諭 片桐 健一

目指す生徒の姿: 様々な情報や考えを紐づけし、新たなものを創造できる人



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**地域の産業を支える新たな価値を生み出す豊かな創造性  
 情報活用、問題発見・解決能力の育成**

教科(理科)  
 ・物理基礎  
 力の合成と分解(2学年)  
 \*荷重がかかった時に、その力をどう逃がすか。

教科・学年(工業科・建築、2学年)  
 ・建築実習  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (情報収集力、情報活用力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○構造実験(2学年・2学期)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○4~5名のグループで橋梁模型をつくり、できた模型に荷重をかけて、強さを測る。物体にどのような力がかかっているか。実際に使われている橋はどのような構造なのか。デザインはどのようなかなど情報を収集し、要件に合わせて活用する。予備実験を行い、問題点の発見、解決をし、本番をシミュレーションする。評価は、①耐荷重(最大荷重÷自重)、②予測(申告との誤差)、③デザイン(参加者間での投票)をすべて数値化して行う。

教科(地理歴史科)  
 ・地理総合  
 地震・津波と防災(2学年)  
 \*地震で倒壊しない橋はどのような形をしているか。



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 商業科 単元等構想シート

皆野高等学校 教諭 千島 拓実

目指す生徒の姿: 心身共に健全で創造的な産業人



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**課題の解決策について、相手に合わせた表現方法を用いた提案ができる言語能力の育成**

教科(商業科)  
 ・商品開発と流通(2学年・1月)  
 \*商品の販売、販売員活動

教科・学年(商業科・2学年)  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (商品特徴と消費者課題を結び付け、ターゲットに合わせた表現方法で解決策を提案する力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○販売実習を想定した「販売員活動」の学習時(1月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○開発商品のプロモーションを考える。その際、保健体育科「食事と健康」、家庭科「栄養素のはたらき」で学んだ知識を使いながらプロモーション内容を考える。

教科(保健体育科)  
 ・保健(1学年)  
 \*現代社会と健康、食事と健康  
 教科(家庭科)  
 ・家庭総合(3学年・2学期)  
 \*食生活をつくる



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 商業科 単元等構想シート

浦和商业高等学校 教諭 梶原 朋子

目指す生徒の姿: グローバルに展開する経済社会において、多様な分野で幅広く活躍する商業人



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**多文化を理解し、グローバルに展開する経済社会で活躍するための言語能力の育成**

教科(商業科)  
 ・総合実践(3学年・5月)  
 \*ビジネスマナー

教科・学年(商業科・3学年)  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (各国のビジネスマナーを理解し世界で活躍する力)(正しい日本語の使い方や敬語の意義を理解し活用する力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○総合実践(4~7月)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○総合実践においてビジネスマナーを学習する。  
 その際、日本以外の国におけるビジネスマナーにはどのようなものがあり、日本との違い、共通することは何かなど他教科と関連付け理解を深める。

教科(外国語科)  
 \*婉曲表現(3学年・5月)  
 \*動詞、形容詞  
 教科(国語科)  
 \*現代を考える(3学年・5月)  
 \*敬語の使い方、若者言葉



埼玉県マスコット「コバトン」

# 高等学校 商業科 単元等構想シート

越谷総合技術高等学校 教諭 水落 翼

目指す生徒の姿: チームで働く力を身につけた人間性豊かな産業人



課題 (教科等横断的な視点で育成したい資質・能力)  
**必要な条件や情報を整理し、より売上が増える品揃え、  
 陳列を考える情報活用能力の育成**

教科(商業科)  
 ・マーケティング  
 \*4章 製品政策 第6節仕入計画  
 ・ビジネス基礎  
 \*4章様々なビジネス 2小売業

教科・学年(商業科・2学年)  
 身に付けたい力(資質・能力)  
 (科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力)  
 特に関連する単元等(いつ・どのような学習を通して)  
 ○製品政策 仕入計画(品揃えの検討)  
 教科等横断的な視点(授業づくりの工夫・手立て)  
 ○駅前と郊外のコンビニエンスストアの品揃えを考える。  
 店舗の箱を建築科に提供してもらい、関連付ける。  
 (実際に店舗運営をする際に提供された建物で陳列や  
 品揃えを考える)

教科(工業科)  
 ・建築計画  
 \*平面図・鳥観図・見取り図等  
 教材提供



埼玉県マスコット「コバトン」

(3) 授業実践事例

単元等構想シートはこちらをクリック！

加須市立北川辺東小学校 教諭 田中 崇亮

**教科** 国語科 **学年** 第6学年  
**単元** 政党ごとに話し合い、主張し合って、選挙をしよう  
 「みんなで楽しく過ごすために」

**目指す児童の姿**  
 豊かな感性や奉仕の心を持ち、自ら学習する子の育成

**横断する教科等(単元・題材)**  
 社会科  
 ①「わたしたちの生活と政治・国の政治のしくみと選挙」  
 ②「日本の歴史・明治の国づくりを進めた人々」

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**  
 地域をよりよくする方法を主張し合い、主権者として適切な判断をするための**言語能力**の育成

**研究内容**

<本単元における言語活動>  
 テーマについて政党内で話し合ったことをもとに演説し、模擬選挙を行う。

**【社会科①】**  
 ○選挙のしくみについて学ぶ。  
 ・国会議員＝国民の代表者  
 ・政党…同じ意見をもった国会議員が集まる。  
 ・選挙権＝選挙で投票する権利(18才以上)  
 ↓  
 ※選挙…主権者として意思を反映させる**社会参画の機会**

**【社会科①】**  
 ○**根拠**となる地域の情報等を集める。  
 ※自分の考えに繋がるようにする。

自分たちの代表を決める一票を大事にしたい。

**【社会科①】**  
 ○**主権者**として選挙について考えをもつ。

**成果**

- 選挙のしくみを理解した上で本言語活動に取り組んだことで、児童が相手・目的を具体的にイメージすることができ、目的に沿って表現の仕方を吟味する姿が見られ、言語能力の育成につながった。
- 選挙活動への理解を深め、投票による社会参画の意識を高めることができた。

**課題**

- 国語科・社会科双方における育成したい力や評価について明確にした上で、教科等横断的な視点による授業づくりを行うことが必要である。
- より効果的にするためには、学習内容や学習する時期を把握し、進度を合わせるなど計画的に実施していくことが必要であると考える。

**【国語科】**  
 <第1時>  
 地域の課題をもとに2つの議題を設定し、話し合いと模擬選挙を行うことを確認する。  
 <第2時>  
 話し合いの計画を立てる。  
 ○**考えを広げる話し合い**  
 ○**考えをまとめる話し合い**

**【社会科②】**  
 ○大日本帝国憲法の特徴を知り、**今の日本のしくみと比べる**。  
 ・貴族院・衆議院(選挙あり)  
 ・選挙権をもつ人は国民の1.1%  
 ・一定の税金を納めた25才以上の男子のみ等  
 今と違うところがあるよ。初めての選挙は関心が高かったんだね。

**【社会科①】**  
 <第6・7時>  
 模擬選挙に向けて、各政党が演説をする。  
 演説をもとに、有権者側の児童が投票する。  
 ○**観点をもって主張を聞く**。

<第3時>  
 議題に対する自分の考えを明確にする。  
 ○**意見・理由・根拠**を分ける。

<第4・5時>  
 各政党ごとに話し合いをする。政党内で決まったことについて、演説の仕方を考える。  
 社会で学んだ仕組みがよく分かるね。主張を明確にする話し合いが重要だね。

単元等構想シートはこちらをクリック！

滑川町立月の輪小学校 教諭 宗像 雅恵

**教科** 国語科 **学年** 第4学年  
**科目/単元** きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう「ウナギのなぞを追って」

**目指す児童の姿**  
 確かな学力を身に付け、自信をもって発信できる子

**横断する教科** 小学校 第4学年 図画工作科  
 「本から飛び出した物語」  
**単元と内容** 小学校 第4学年 理科  
 温度とものの変化(1)「ものの温度と体積」

**教科等横断的な視点で育成したい資質・能力**  
 根拠を基にして自分の考えを表現するための**言語能力**の育成

<本単元における言語活動>  
 興味をもったことをはっきりさせ、紹介する文章を書く。

**理科の取組** ~理科の見方・考え方を働かせて~  
 単元を通して身に付けたい力

**既習内容や生活経験を基に**  
**根拠**のある予想や仮説を発想する力

物質による体積変化の違いを**比較**し、物質による**ちがいをとらえる**。  
 予想や考察で使う「**言葉**」に着目させる。

**使用語彙の往還**  
 ~と考えられました。~に着目しました。~からです。

**《授業の流れ》**  
 本文を読み、単元の課題を理解する。 → 感想を交流し合い、自分の**興味**の中心を確かめる。 → 本文を読み ①大まかな内容 ②出来事を整理して → **興味をもった部分とその理由**を挙げ、紹介する文章を書く。読み合って交流する。

**図画工作科の取組** 文字(言語) ⇄ 感じ方 ⇄ 色・形・大きさの表現

物語の中からお気に入りの場面を決め、イメージをふくらませる。  
 この場面がわくわくする。  
 「わくわく」を色で表すと? 「美しい」はどんな形?  
 わくわくして、心があたたかくなりそう。背景にオレンジ色を使ったよ。  
 物語に出てくる魔法の美しい花をつくりたいな。  
 つくりたい場面に合わせ、表し方を工夫する。  
 作品を紹介し合い、よさを見つける。

**成果**

- 理科の学習で用いる「予想」や「結果」などの問題解決の過程を基にすることで、本文中の筆者の考えと調査結果の違いが読み取りやすくなった。
- 図画工作科の学習と関連付けて行うことで、自分の興味の所在(面白い、驚いた、不思議、もっと知りたい等の感情)が明らかになり、根拠を言語化することがスムーズであった。

**課題**

- 教科担任制により、教科間でめあてを共有する打合せの時間確保が必要であった。
- 児童が学習で身に付けた力を他教科で発揮する際に、想起のさせ方に工夫が必要である。

**教科** 国語科 **学年** 第2学年  
**単元等** 「魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く」

**目指す生徒の姿**  
 夢を持ち、その実現のために全力でやり抜く生徒

**横断する教科等(単元・題材)**  
 音楽科「曲の構成に注目しながら曲想の変化を味わおう」  
 美術科「ひと目で伝えるための工夫」

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**  
 自分の価値観や思いを相手に伝えるための**言語能力**の育成

**<本単元における言語活動>**  
 芸術作品を鑑賞し、感じたことやその作品の魅力的文章で伝える。

**音楽科の取組**  
 ベートーヴェン交響曲第5番を鑑賞する。  
 B鑑賞(1ア(ア)、イ(ア))

**国語科の取組**  
 音楽・美術の鑑賞の時間に書いた文章を見て自己評価をし、言葉の表現や選び方に注目する。

**美術科の取組**  
 ピクトグラムを鑑賞する。

魅力伝える言葉になっているか。

別の絵画や音楽を鑑賞し、自分の思いが伝わることを意識した表現や言葉の選び方をして鑑賞文を作成する。

提出された鑑賞文の中からよい言葉や表現を選んで提示し、それぞれの授業で扱った鑑賞文をリライトする。

自分の成長を可視化する。

**成果**

- 音楽や美術で学んだ知識を生かし、その魅力を伝える言葉を増やすことで、鑑賞文の内容が充実した。
- 魅力を伝えようとする過程で、自分で調べたり、友達に聞いたりしながら語彙力を身に付けることができた。

**課題**

- 実際に鑑賞するときには、作文指導だけで終わらないよう、教科等横断的な視点でのファシリテーションが必要である。
- 思考も鑑賞も、言語化することによって可能になる。言語化のために必要な語彙力を授業内において身に付けさせることで、鑑賞力も上がるものと考えられる。

**教科** 国語科 **学年** 第1学年  
**単元等** 根拠を示して説明しよう  
 「資料を引用してレポートを書く」

**目指す生徒の姿**  
 自ら学ぶ意欲を持ち、目標に向かって着実に努力する生徒

**横断する教科等(単元・題材)**  
 保健体育科…調和のとれた生活  
 家庭科…食事の役割と食習慣

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**  
 身近な健康・安全・食に関する自分の考えを明確にし、わかりやすく伝えるための言語能力の育成

**<本単元における言語活動>**  
 資料を用いて根拠を示したレポートを作成・発表し、意見交換をする。

**<保健体育科>**  
 健康とは何かを理解し、どうすれば健康を保持推進できるか、健康と生活の仕方について学び、調和のとれた生活の継続を目指す。

**<家庭科>**  
 食事の役割、栄養について理解し、毎日の食生活に関心をもつ。

国語①  
 ○学習目標と課題の確認・話題提示  
 「長生きするには」

**テーマ設定が重要！**

- ・他教科でつながるものを想起させる。
- 仮説設定
- 話題とずれないように。
- 質問項目設定
- ・証明できる内容を探す。

国語②～④  
 ②PCや資料による情報収集  
 ③「調査結果」と「考察」を考え、レポートの作成(グラフやデータの引用)  
 ④レポートの作成と推敲

※他に予想される横断する教科  
 英語…コミュニケーション、音楽…癒し  
 社会…戦争、理科…生活の利便性や生物  
 保健体育…運動、美術…芸術

国語⑤  
 ○レポート発表  
 ・相互評価をし、コメントを伝える。  
 ○振り返り  
 ・様々な教科とのつながりも考えさせる。

**成果**

- 取り扱う題材によっては、横断させたい教科のみならず、全ての教科に通ずる内容にすることができる。
- テーマ設定によって、生徒みずから、他教科とのつながりに気付くことができ、意欲的に学習に取り組むことができる。

**課題**

- 教師によるテーマ設定の仕方によっては、教科等横断的な授業にならなくなってしまう可能性がある。
- さらに他教科に戻っていった際にどれ程、横断することができるのか。

**教科** 社会科 **学年** 第6学年  
**単元等** 「明治の国づくりを進めた人々」

**目指す児童の姿**  
 他者との対話を通して、自身の考えを深め、広げようとする子の育成

**横断する教科等(単元・題材)**  
 国語科「いちばん大事なものは」  
 道徳科「ロレンゾの友達」

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**  
 互いの立場や意図を明確にしなが話し合い、自分の考えを広げたり、まとめたりするための**言語能力**の育成

<本単元における言語活動>  
 『富国強兵』のために一番重要だと思改革について話し合いを行う。

|  |                                     |  |   |
|--|-------------------------------------|--|---|
| <b>【国語科】①</b><br>話し合い、自分の考えを広げる」という単元の見通しをもち、自分の考えを書く。 | <b>【道徳科】</b><br>立場を明確にして、自分の考えを伝える。 | <b>【国語科】②</b><br>2つのグループで考えを交流し、自分の考えを深め、まとめる。 | <b>【国語科】③</b><br>話し合いを振り返る。<br>・自分の変容<br>・話し合いの価値 |
|--|-------------------------------------|--|---|

**成果**  
 ○国語科の学習と関連付けて学びを進めると、話し合いの見通しをもつことができ、意欲的に話し合う児童の姿が見られた。  
 ○社会科・国語科ともに立場を明確にして表現する機会が増え、他者の意図を捉え、比較し、自分の考えを広げたり、まとめることができる児童の育成につながった。

**課題**  
 ○各教科で育成したい力を明確にし関連付ける方法や有用性を検討する必要がある。

**研究内容**  
 本時4/9  
 前時 つかむ 調べると まとめる 振り返る  
 明治の諸改革について調べ、自分の考えを書く。話し合いの方法を確認する。  
 グループA(異なる考え同士)で話し合う。  
 Bグループ(同じ考え同士)で話し合う。  
 自分の考えをまとめ、再度グループAで話し合う。  
 学級の状況や自分の変容を捉える。

明治維新の改革で、『富国強兵』のために一番重要なのは何だろうか  
 なぜ、〇〇が1番なの？  
 理由は…  
 Aグループで多かったのは  
 資料を見ると～だから…  
 初めは、〇〇だったけど、友達のことを聞いて…

**広げる** **まとめる**

**教科** 社会科 **学年** 第4学年  
**単元等** 「麦の生産量をふやす～先人のはたらき 権田愛三～」

**目指す児童の姿**  
 自分の考えをもち、豊かな表現で他者に伝えようとする子

**横断する教科等(単元・題材)**  
 国語科「ウミガメの命をつなぐ」「新聞を作ろう」  
 総合的な学習の時間「三尻ふしぎ発見～見つけよう～」  
 道徳科「『もっこ』をせおって」「ふるさとを守った大イチョウ」

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**  
 自分の思いや考えについて、効果的な表現方法を選択し発信できる**言語能力**の育成

**国語科** 「新聞を作ろう」 「ウミガメの命をつなぐ」 「『不思議ずかん』を作ろう」  
 重要語句(キーワード)を見つける力

**社会科** つかむ 調べると まとめる  
 <学習問題> 権田愛三は麦づくりをさかんにするためにどのようなことを行ったのだろうか。  
 ①② 昔と今の小麦の生産量や人々の暮らしの変化と、権田愛三の関わりから学習問題を見出す。  
 ③ 現代の麦づくりの流れ  
 ④ 権田愛三が行った麦の生産量を増やすための工夫  
 ⑤ 松本平蔵・真平が行った小麦粉を売るための工夫  
 ⑥ 麦づくりの広がり様子から、権田愛三の工夫や努力、功績について考える。  
 ⑦ 豊かな食文化とのつながり  
 ⑧⑨ 学習問題の結論を学級で導き出し、小単元の学習について自分が選択した表現方法でまとめる。

**成果**  
 ○国語科との関連では、課題に関連するキーワードを資料から適切に抜き出したり、それらを用いて自分の思いや考えを表現したりする児童の姿が見られた。  
 ○道徳科、総合的な学習の時間との関連では、「先人」や「地域」への意識が高まり、社会科での学習がより現実感を伴ったものになっていた。  
 ○他教科での学びのつながりを意識したことにより思考・判断・表現の幅が広がり、効果的な表現方法を選択し発信できる言語能力の育成につながった。

**課題**  
 ○各教科で育成したい力や育成できる力を明確にし、他教科との関連を検討していく必要がある。  
 ○学校・地域の特色を生かし、児童の実態に合ったカリキュラムマネジメントを作成すると◎。

なぜ小麦の生産量を増やしたの？  
 どのようにして増やしたの？  
 「先人」や「地域」を意識→豊かな語彙力  
 <学習問題に対する結論>  
 権田愛三は、麦ふみや二毛作を行ったりよい品種を開発したりして小麦の生産量をふやし、さらにその方法を全国に広め、麦づくりをさかんにした。

**道徳科** 「『もっこ』をせおって」「ふるさとを守った大イチョウ」  
**総合的な学習の時間** 「三尻ふしぎ発見～見つけよう～」

**教科** 理科 **学年** 第6学年  
**単元等** 「てこの規則性」

**目指す児童の姿**  
 他者と協働して科学的に探究し、未知の状況に対応することができる子

**横断する教科等(単元・題材)**  
 ① 算数科 「比例と反比例」  
 ② 図画工作科 「ゆらゆらどきどき」

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**  
 新たな価値を生み出し、持続可能な社会をつくる **問題発見・解決能力** の育成

研究内容

**先生とシーソーで遊ぶプロジェクト～楽しくシーソーで遊ぶための秘密を探ろう～**

このままでは先生と一緒に遊べない！！

「実験用てこ」と「模型」を使って、プロジェクトテーマに沿ってグループごとに計画を立て、実験を進めた。グループごとに異なる手順で実験し、てこの原理に迫った。

実験結果を表でまとめる過程で、反比例の関係を発見し、算数の学習が生かされていた。

プロジェクトのゴール  
 グループごとに導き出した結論を発表した。算出した位置に実際に乗り、本当に遊ぶことができるか実際に確かめた。左右がバランスよく釣り合った時には歓声があがった。発表の後は学級全体で法則を確かめ合った。

プロジェクトスタート  
 第2時～第5時

第6時

**成果**  
 ○一つのプロジェクトを通して子どもたち自身が問題解決を行うことにより、様々な教科と関わり合った授業を展開することができた。今回は、算数と図工を教科横断の視点の代表事例として挙げたが、調べた結果を言葉でまとめるといった国語科の力も同時に育てることができたと考えられた。

**算数科**  
 単元名『比例と反比例』  
 算数科では、事前に反比例の学習を行った。反比例の表の特徴やグラフの表し方を学習したことで、理科の授業の際にも反比例の法則にすぐに気づくことができていた。また、立式を行うことができている班も見られた。

**図画工作科**  
 題材名『ゆらゆらどきどき』  
 理科の学習で得られた規則性や模型や実験用てこを使って調べた体験を生かし、図工の作品制作を行った。針金の左右の長さやつける飾りの重さを考える際に感覚だけではなく、論理的に考えて思考することができていた。

**課題**  
 ○今回は図工の題材を理科単元が終わった後に行う過程を組んだが、図工のうまく釣り合わないことを導入として活用し、クラスで大きな図工の作品を最後に完成させるなど、大規模に教科横断した授業展開も考えられる。複数の教科の特性と目標、授業時間を加味してカリキュラムを練っていく必要があると感じた。

**教科** 理科 **学年** 第4学年  
**単元等** 「もののあたたまり方」

**目指す児童の姿**  
 他者と協働して科学的に探究し、未知の状況に対応することができる子

**横断する教科等(単元・題材)**  
 社会科 (第3学年)  
 市の様子とくらしのうつりかわり  
 家庭科 (第5学年)  
 クッキングははじめの一步  
 暖かく快適に過ごす住まい方

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**  
 新たな価値を生み出し、持続可能な社会をつくる **問題発見・解決能力** の育成

研究内容

**<本単元の見通し>**  
 生活から課題を設定し、学習内容を活かして科学的に説明する。

5年生になった時に家庭科室に貼ってあったらうれしいな。

**【社会科(3年)】**  
 ○昔の人が使っていた道具(冷蔵庫)から疑問点を見つける。  
 ●重い氷を上段に入れるのはなぜか。

**【国語】**  
 ○聞き手を意識したまとめ方をする。  
 ●プレゼンソフト、ポスター、新聞など。

**<第8時>**  
 第1時に取り上げた問題を本単元で学んだことを生かして説明する。

**【家庭科(5年)】**  
 ○金属のあたたまり方からフライパンの火の当たっていない部分が熱くなる理由を説明する。  
 ○空気のあたたまり方から効率的な暖房の風向きを考える。

**【理科】**  
**<第1時(本時)>**  
 児童のアンケート結果をもとに、生活の中のものをあたためる(冷やす)場面を取り上げ、熱源から離れたところが熱くなっていることに気づかせ、1人1人単元を通じた課題を設定する。

**<第2・3時>**  
 金属のあたたまり方

**<第4・5時>**  
 水のあたたまり方

**<第6・7時>**  
 空気のあたたまり方

実験を通して金属、水、空気のあたたまり方を知る。ふり返りで第1時で挙げた問題に戻り、その都度考えさせる。

社会科や家庭科で学んだことも理科の学習内容を使えば科学的に説明ができるね。

**【社会科(3年)】**  
 ○空気のあたたまり方から昔の冷蔵庫の仕組みを説明する。

**【算数(4年)】**  
 ○温度の変化を折れ線グラフでまとめる。

**成果**  
 ○社会科や家庭科の内容と関連付けて学習を進めることで、理科を学ぶ意義や有用性を感じさせることができた。  
 ○学んだことを生かして社会科や家庭科の問題を解決するゴールを設定することで、単元を通して主体的に取り組んでいた。

**課題**  
 ○今回の単元は他教科との内容のつながりを意識した展開になったが他教科の見方・考え方を生かした授業にも取り組んでいきたい。

三郷市立新和小学校 教諭 中野 絵里子 / 北本市立北本中学校 教諭 中澤 美保 / 神川町立神川中学校 教諭 奥山 圭太

|     |                            |    |          |
|-----|----------------------------|----|----------|
| 教科  | 外国語科                       | 学年 | (小) 第5学年 |
|     |                            |    | (中) 第3学年 |
| 単元等 | (小) Check Your Steps 2【東書】 |    |          |
|     | (中) Our Project 8【開隆堂】     |    |          |

**目指す児童生徒の姿**

相手を意識し伝え方を工夫しながら、自分の考えを発信することができる子

**横断する教科等(単元・題材)**

(小)道徳科「地域を愛する心」  
社会科「わたしたちの生活と工業生産」  
(中)道徳科「郷土の発展に努める」  
国語科「聞き上手になろう」

**教科等横断的な視点で育成を目指したい資質・能力**

身に付けた知識及び技能を総動員して、相手に伝えるための**言語能力の育成**

**郷土の知識を獲得・発信力を向上**

**オンラインでの遠隔交流授業の実施**

**小学校での教科等横断**  
(三郷市立新和小学校)

①道徳科「地域を愛する心」  
自分の郷土への興味・関心を高めた。

②社会科「わたしたちの生活と工業生産」  
地域の暮らしの向上のため、様々な工夫や努力をしていることを知り、郷土への意識を高めた。

③特別活動(創立50周年式典)  
学校の歴史を学んだり、成長を振り返ったりすることで、愛校心や郷土愛を深めた。

---

**中学校での教科等横断**  
(北本市立北本中学校)

①道徳科「郷土の発展に努める」  
郷土の魅力を他者に発信するための内容を得たり、発信する意欲を高めた。

②国語科「聞き上手になろう」  
聞き取った内容や表現の仕方に注目し、より具体的な情報を引き出すための質問の方法を学んだ。

**小中で実施(外国語科「地域の魅力紹介」)**

○聞き手が自分たちの市に『行ってみたいな』と思ってもらえるために、英語でのプレゼンテーションを作成、練習をした。オンラインで、小学生から中学生へ、中学生から小学生へ、自分の地域について写真や絵を用いてプレゼンテーションを行った。

|  |  |
|--|--|
| <p>小学校(交流授業①)<br/>工夫点:既習事項の活用につながるワークシートと少人数によるやり取りを重視したグルーピング</p> | <p>中学校(交流授業②)<br/>工夫点:「相手を意識した伝え方の工夫」に着目した発表準備とスライドを活用したグループ発表</p> |
|--|--|

**成果**

- 地域のお勧めについて、好意的に聞いてくれた相手がいたことで、郷土愛をさらに深めることができた。
- 学習内容の定着だけでなく、コミュニケーションにおいて欠かせない相手意識を高めた交流ができた。

**課題**

- 小学校では、各担任や教科主任が教科横断的な視点に立った授業づくりの実践を積み重ねること。
- 中学校では、小学校と同様に、積み重ねることだけでなく、生徒自身が各教科とのつながりを意識した学びになるよう指導すること。

研究内容

知識及び技能を総動員

(4) 研究協力委員アンケート

今回の調査研究に取り組んだことが、教科等横断的な授業づくりに関する意識等の変容にどのような影響をもたらしたかを把握して今後の改善に資するために、研究協力委員を対象としたアンケートを実施した。形式は、択一式の質問が 15 題、自由記述が 1 題となっており、択一式は「4～1」の数値（4：とても当てはまる 1：当てはまらない）を選択して回答するものである。実施の概要を以下の表に提示した。

【アンケート概要】 回答数：60

| 質問項目   | 平均値  |
|--|------|
| Q 1 あなたは、この調査研究を通して、教科等横断的な授業づくりについて理解が深まりましたか。  | 3.62 |
| Q 2 あなたは、この調査研究を通して、今後も教科等横断的な授業づくりについて取り組みたいと思いませんか。  | 3.52 |
| Q 3 あなたは、この調査研究を通して、単元構想に理解や深まりを感じましたか。  | 3.52 |
| Q 4 あなたは、教科等横断的な授業づくりを所属校の他の教員にも勧めたいと思いませんか。   | 3.35 |
| Q 5 あなたは、教科等横断的な授業づくりで所属校で継続的に取り組んだ場合、他の教職員が教科・学年を越えて積極的に協力してくれると思いますか。                                      | 2.98 |
| Q 6 あなたは、今までと比較して、所属校の他の教員と授業づくりについて話をしたり、他の教員の授業見学を行うようになりたりしましたか。  | 3.12 |
| Q 7 あなたは、既習事項や先の学年で学ぶ内容との関連（系統性）を意識して指導するようになりましたか。  | 3.53 |
| Q 8 あなたは、客観的な指標（全国学力・学習状況調査、自校作成の学力テスト、業者による学力テストなど）を活用して形成的評価を把握し、授業改善に繋げるようになりましたか。                        | 2.75 |
| Q 9 あなたは、所属校の他の教員と、児童生徒の育成したい資質能力やその評価方法について話をするようになりましたか。   | 3.07 |
| Q 10 あなたは、この調査研究を通して、ご自身の担当学年・教科だけでなく、学校の教育課程全体で組織的に児童生徒を育てていくという意識が強くなりましたか。                                | 3.43 |
| Q 11 あなたは、今後も教科等横断的な授業づくりを所属校で取り組んだ場合、一定の成果が得られると思いますか。  | 3.33 |
| Q 12 あなたは、教科等横断的な視点で授業を実施して、学習指導要領に記載された「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができる」ことを実感しましたか？【授業実践者のみ】 | 3.44 |
| Q 13 あなたは、教科等横断的な視点で授業づくりを継続した場合、児童生徒に「知識及び技能」における資質・能力の育成がより一層見込まれると思いますか。【授業実践者のみ】                         | 3.65 |
| Q 14 あなたは、教科等横断的な視点で授業づくりを継続した場合、児童生徒に「思考力、判断力、表現力等」における資質・能力の育成がより一層見込まれると思いますか。【授業実践者のみ】                   | 3.79 |
| Q 15 あなたは、教科等横断的な視点で授業づくりを継続した場合、児童生徒に「学びに向かう力、人間性等」における資質・能力の育成がより一層見込まれると思いますか。【授業実践者のみ】                   | 3.74 |

※ Q12～15 は、本年度授業実践を行った委員のみが対象

アンケート結果からは、教科等横断的な授業づくりに関する委員の変容等について、幾つの特徴を読み取ることができた。なお、右のグラフは、それらの特徴に関連する項目についての回答を示したものである。

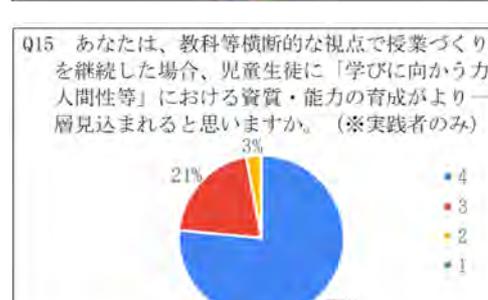
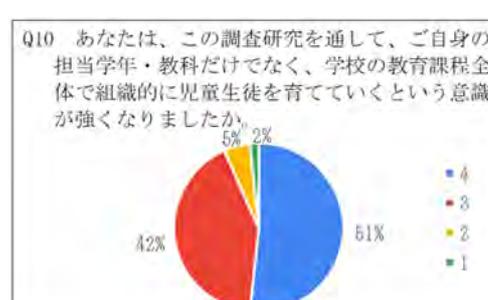
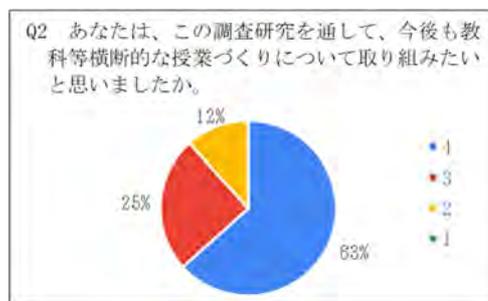
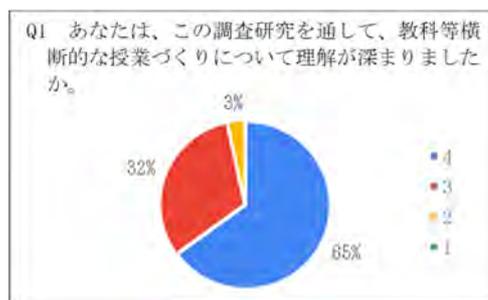
まず、委員個人の理解や意欲に関するQ1やQ2は、最大値の「4」を選択した委員がそれぞれ6割以上を占め、平均値も高かった。自由記述にも、「教科の垣根を越えることで、児童生徒にとってより効果的に指導ができたり、学びが深まったりすると感じました」（中学）や、「他教科での学習内容について意識的に注目したり、横のつながりを意識することができるようになった」（高校）といった内容が見られ、委員の理解や意欲の高さを裏付けている。

次に、所属校で教科等横断的な授業づくりに取り組む際の体制面に関するQ5は、「2」以下を選択した割合が3割以上であり、平均値も「3」を割って低いものとなった。自由記述には、「自分の学校はどうかののだろう…と考えると、育てたい具体的な生徒像とは？教員間の連携はどうか？そもそも、そういった内容について他教科の教員と話すことがあるか？と疑問ばかりが浮かび、現状なかなか難しいなと思ったのが正直なところ」（高校）という率直な課題観も見られた。

このような現状を克服するためには、委員の所属校におけるカリキュラム・マネジメントの促進が期待されるが、その意識に関するQ10では、「3」「4」の選択が9割以上を占めており、カリキュラム・マネジメントに対する委員の高い意識が見られた。「カリキュラム・マネジメントについての意識が高まった」（高校）という記述からも、その重要性に対する認識が確認できた。

教科等横断的な授業づくりに関する実践の成果として、児童生徒の学びについての見取りに関するQ8は、「2」以下の回答も4割弱となり、全項目の中で最も低い平均値となった。「教科横断を実施して生徒への教育効果がどれくらいあるかはわからないので、そこを測るものがあるといいなと感じました」（高校）という記述が示しているとおり、教科等横断的な授業づくりを促進する中で、教師と生徒のそれぞれが学びの成果をどのように可視化するか、さらなる研究の推進が期待される。

以上、今回のアンケートに関する特徴を列記したが、授業実践者を対象としたQ12～15の4項目の結果からは、教科等横断的な授業づくりに関する期待の高さも垣間見えた。「教科等横断的な授業に取り組むことで、子供たちの学びが広がっていくことは確実である。その学びの広がりが、身に付けるべき力の向上となり、子供たちの学びに向かう力の向上につながることを期待できる」（中学）といった教師の期待が子供たちの学びの成果へ結実出来るように、教科等横断的な授業づくりのより一層の推進が求められる。



## 7 成果と課題

### (1) 成果

#### ア 教科等の目標や内容を見通した、学習の基盤となる資質・能力の育成を目指した「単元等構想シート」の作成

- 各教科部会において、研究協力委員を今年度4回実施し、教科等横断的な視点による授業実践について検討した。検討にあたって、各校が掲げる「目指す児童（生徒）の姿」から、教科等横断的な視点で育成したい資質・能力である「課題」を設定し、各学年や教科において具体的な実践内容について考案した。それらを1枚にまとめたものを「単元等構想シート」とし、明瞭に把握できるようにした。

特に、「課題」である教科等横断的な視点で育成したい資質・能力については、大きく三つの能力に分けて整理した。分類した三つの能力に関する主な検討実践案（一部）については、以下のとおりである。

#### 【構想した単元等に見られる教科等の組合せ例】

##### ○言語能力に関するもの

- ・小学校 4 学年 社会科×国語科×道徳科 [麦の生産量を増やす]
- ・中学校 3 学年 外国語科×国語科×道徳科 [目的・場面・状況を意識して伝える力]
- ・高等学校 2 学年 国語科×家庭科×英語科 [国語表現／スピーチをしよう]
- ・高等学校 2 学年 外国語科×地理歴史科 [英語コミュニケーションⅡ]
- ・高等学校 3 学年 商業科×国語科×外国語科 [総合実践]

##### ○情報活用能力に関するもの

- ・高等学校 1 学年 地理歴史科×国語科×理科 [地理総合／地球温暖化問題とその対策]
- ・高等学校 1 学年 数学科×情報科 [数学Ⅰ／データの分析]
- ・高等学校 2 学年 理科×家庭科×保健体育科 [生物基礎／酵素]

##### ○問題発見・解決能力に関するもの

- ・小学校 4 学年 体育科×理科 [器械運動・ボール運動]
- ・中学校 2 学年 道徳科×国語科×保健体育科 [自他の命の尊重]
- ・中学校 3 学年 理科×社会科×技術・家庭科（技術分野）[エネルギー資源の利用]
- ・高等学校 1 学年 情報科×数学科 [情報Ⅰ／モデル化とシミュレーション]
- ・高等学校 2 学年 家庭科×保健体育科 [家庭基礎／五大栄養素の働き]
- ・高等学校 2 学年 工業科×理科×地理歴史科 [建築実習／構造実験]

#### イ 当センター指導主事と研究協力委員による、校種や教科を越えた研究の推進

- 第1回研究協力委員会では、聖心女子大学現代教養学部教育学科教授 益川 弘如 氏より基調講演をいただいた。益川氏からは、教科等横断的な学びを通して育てる学習の基盤となる資質・能力や協働的な学びから個別最適な学びへつながる主体的・対話的で深い学びの過程で資質・能力を発揮させるポイントについて示していただき、教科等横断的な学びを考えていく上での知見を得た。
- 当センター等で集合して研究協力委員会を実施するだけでなく、オンラインによる研究協力委員会を実施するなど、多様な形態を用いて指導主事と研究協力委員が連携しながら研究を進めた。また、教科や校種を横断して、当センター指導主事や研究協力委員が他教科や他校種の委員会に参加して、研究を推進することができた。
- 学習指導案の検討から教材研究等を実施し、教科等横断的な授業実践を行うことができた研究協力委員会もあった。各々の研究協力委員会において、情報交換や情報共有をしながら、連携した学習指導案の検討や教材研究等が行われた。
- Google Classroom や Zoom 等のアプリケーションを活用し、異なった校種間で協働の授業実践を行うといった教師による ICT 活用ができた。また、児童生徒が学びを深めるために、

Powerpoint などのプレゼンテーションソフトを用いて発表活動を行うといった児童生徒による ICT 活用もできた。教科等横断的な学びをより深めるため、ICT を有効に活用した授業実践も検討することができた。

- ・ テーマ設定に向けた情報交換会や進捗状況報告会、研究成果発表会等、指導主事間での情報共有により、多様に連携しながら研究を進めた。また、今年度の研究実践を指導主事間で振り返る研究成果発表会においては、本研究の御指導をいただいている益川氏より次年度に向けた具体的な研究の方向性について御教授いただいた。

## (2) 課題

### ア 教科等横断的な学びを通して育てる資質・能力について－教科間の関連の整理－

今回の調査研究により、各教科の学習内容、各教科で育む資質・能力を検討し、教科等横断的な視点による授業について構想した。この構想した内容から、「課題」となる3つの資質・能力の育成について、教科間においてどのような関連があるのかについて検討すべきである。見出される関連については、それらを整理し、教科等横断的な学びによって期待される効果について考えていくことは今後の大きな課題である。

### イ 学校現場における教科等横断的な学びの浸透

アンケート調査のQ5「あなたは、教科等横断的な授業づくりに所属校で継続的に取り組んだ場合、他の教職員が教科・学年を越えて積極的に協力してくれると思いますか。」について、およそ3割の研究協力委員が「2」「1」を選択しているように、教科等横断的な授業づくりは、まだ十分に浸透していない現状があり、このような実践に対する理解を得るには、実践例を発信していくことが必要であると感じる。日々の教科指導に加えてという認識ではなく、教科等横断的な視点に立つ授業づくりを通して、教職員も互いの教科性やその学習内容に理解を深め、学校として児童生徒の資質・能力を育んでいくことができるよう、更なる働きかけが必要であると考えられる。

### ウ 教科等横断的な学びの評価方法について

今年度の各教科での調査研究委員会において、実践に対する評価についてまで検討するには至っていない状況である。各々の実践授業において、どのように課題に対する評価（教科等横断的な視点で育成したい資質・能力の育成を見取るか）について整理する必要があると考える。授業の前後における児童生徒の資質・能力の変化を測るためのアンケート調査など、具体的な評価方法を検討していくことも課題として挙げられる。

## 8 おわりに

今年度は、教科等横断的な視点に立った資質・能力を捉え、その育成を目指すために各教科の学びと関連付けて単元等を構想する研究を進めた。

今後は、各教科部会が本年度の取組から得た知見を基に、目指す児童生徒の姿に迫る資質・能力の育成に向けて、実際に授業実践及び検証を行う。研究協力校の支援の下、実践事例を広く発信することで教科等横断的な視点に立つ授業づくりに関する課題解決の一助となり、授業改善と児童生徒の更なる資質・向上に繋がる学びを本県で実現させていきたい。

## 9 参考文献

- 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編』文部科学省
- 『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編』文部科学省
- 『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説総則編』文部科学省